

內閣印刷局

七八五

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
大東文化協會ニ關スル質問主意書
提出者 山根 儀重君
(以上三月十五日提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
茲ニ掲載ス)
一 本月十三日民事訴訟法中改正法律案外一
件委員岩崎幸治郎君辭任ニ付其ノ補關ト
シテ砂田重政君ヲ、議員梅田寛一君ノ行
動ニ關スル調査ノ件委員工藤鐵男君辭任
ニ付其ノ補關トシテ田中万逸君ヲ執レモ
議長ニ於テ選定セリ

○副議長(小泉又次郎君) 是ヨリ會議ヲ開
キマス、諮問事項ガアリマス、第九部選出
豫算委員秋田寅之介君常任委員辭任ノ申出
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレ
バ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補關選
舉ヲ行ヒ、届出アランコトヲ望ミマス、向
ホ藤澤萬九郎君病氣ニ付、三月十二日ヨリ三
月二十一日マデ、田口文次君事故ニ付、三
月十五日ヨリ三月二十四日マデ請假ノ申出
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレ
バ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補關選
舉ヲ行ヒ、届出アランコトヲ望ミマス、向
ホ藤澤萬九郎君病氣ニ付、三月十二日ヨリ三
月二十一日マデ、田口文次君事故ニ付、三
月十五日ヨリ三月二十四日マデ請假ノ申出
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレ
バ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補關選
舉ヲ行ヒ、届出アランコトヲ望ミマス、向
ホ藤澤萬九郎君病氣ニ付、三月十二日ヨリ三
月二十一日マデ、田口文次君事故ニ付、三
月十五日ヨリ三月二十四日マデ請假ノ申出
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレ
バ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補關選
舉ヲ行ヒ、届出アランコトヲ望ミマス、向
ホ藤澤萬九郎君病氣ニ付、三月十二日ヨリ三
月二十一日マデ、田口文次君事故ニ付、三
月十五日ヨリ三月二十四日マデ請假ノ申出
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレ
バ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補關選
舉ヲ行ヒ、届出アランコトヲ望ミマス、向
ホ藤澤萬九郎君病氣ニ付、三月十二日ヨリ三
月二十一日マデ、田口文次君事故ニ付、三
月十五日ヨリ三月二十四日マデ請假ノ申出
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレ
バ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補關選
舉ヲ行ヒ、届出アランコトヲ望ミマス、向
ホ藤澤萬九郎君病氣ニ付、三月十二日ヨリ三
月二十一日マデ、田口文次君事故ニ付、三
月十五日ヨリ三月二十四日マデ請假ノ申出
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレ
バ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補關選
舉ヲ行ヒ、届出アランコトヲ望ミマス、向
ホ藤澤萬九郎君病氣ニ付、三月十二日ヨリ三
月二十一日マデ、田口文次君事故ニ付、三
月十五日ヨリ三月二十四日マデ請假ノ申出
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレ
バ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補關選
舉ヲ行ヒ、届出アランコトヲ望ミマス、向
ホ藤澤萬九郎君病氣ニ付、三月十二日ヨリ三
月二十一日マデ、田口文次君事故ニ付、三
月十五日ヨリ三月二十四日マデ請假ノ申出
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレ
バ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補關選
舉ヲ行ヒ、届出アランコトヲ望ミマス、向
ホ藤澤萬九郎君病氣ニ付、三月十二日ヨリ三
月二十一日マデ、田口文次君事故ニ付、三
月十五日ヨリ三月二十四日マデ請假ノ申出
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセ
ヌカ

第二十四、對支文化事業特別會計法中改正
法律案ノ第一讀會ノ續アリキマス、委員長
ノ報告ヲ求メマス、委員長長峰與一君
第二十四 對支文化事業特別會計法中
改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 對支文化事業特別會計法中改正法律案
(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
大正十五年三月二日

對支文化事業特別會計
法中改正法律案委員長
長峰 與一

○長峰與一君 對支文化事業特別會計法中
改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報
告申上ダマス、改正法律案ノ要旨ハ、對支
文化事業ノ進捗ニ伴ヒマシテ、從來ノ歲出
二百五十萬圓ヲ以テシテハ、更ニ緊要ナル
施設ニ對シテ其要求ニ應ズル能ハザルノ憾
ミアルヲ以テ、更ニ五十萬圓ヲ増額シテ以
テ對支事業ノ向上發展ヲ期セントスルノデ
アリマス、向ホ本特別會計ノ資金ハ大藏省
預金部ニ預入ノミニ限ラレテ居タルノデア
リマスガ、該資金ヲ以テ國債ヲ保有スルノ
途ヲ開キマシテ以テ健全ニ資金ノ確立ヲ圖
リ、向ホ所要額支出ヲ安全ナラシメタルト云
フノデアリマス、更ニ本事業ノ性質ニ考ヘ
マシテ、前年度ノ豫算殘額ハ遞次年度ニ
繰越シ得ル途ヲ開キマシテ、事業ノ性質上
遂行ニ支障ナカラシメントスルノデアリマ
ス、委員會ニ於テマシテハ御承知ノ通り本
事業ハ東亞ノ共存共榮、日支親善ノ基調ト
ナルベキ所ノ事業デアリマス故ニ、各委員
ハ政治ヲ離レ外交ヲ離レテ、純真ナル態度
ヲ以テ慎重ニ審議サレタノデアリマス、而
モ各委員ハ皆何レモ支那ノ事情ニ精通セラ
レタル人デアリマシテ、特ニ神田正雄君、
植原悅二郎君、宮島幹之助君、今里準太郎

君ノ如キ委員ノ所論ハ、實ニ傾聴ニ値スベ
キモノガアツタノデアリマス、是等ハ何卒
會議錄ニ依テ御承知アランコトヲ望ミマ
ス、以上ヲ以テ御報告ト致シマス(拍手)
○副議長(小泉又次郎君) 本案ノ第二讀會
ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、第二讀會
ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認
メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○作間耕逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開
キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り
可決ヒラレンコトヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ
御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會
ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
對支文化事業特別會計法中改正法律案
第二讀會(確定議)

○副議長(小泉又次郎君) 別ニ御發議ガナ
イヤウデアリマス、仍テ第三讀會ヲ省略シ
委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)日
程第二十五、教育改善及農村振興基金特別
會計法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、
委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長千葉宮次
郎君

第二十五 教育改善及農村振興基金特
別會計法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

○副議長(小泉又次郎君) 別ニ御發議ガナ
イヤウデアリマス、仍テ第三讀會ヲ省略シ
委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)日
程第二十五、教育改善及農村振興基金特別
會計法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、
委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長千葉宮次
郎君

○副議長(小泉又次郎君) 別ニ御發議ガナ
イヤウデアリマス、仍テ第三讀會ヲ省略シ
委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)日
程第二十五、教育改善及農村振興基金特別
會計法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、
委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長千葉宮次
郎君

○副議長(小泉又次郎君) 別ニ御發議ガナ
イヤウデアリマス、仍テ第三讀會ヲ省略シ
委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)日
程第二十五、教育改善及農村振興基金特別
會計法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、
委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長千葉宮次
郎君

○副議長(小泉又次郎君) 別ニ御發議ガナ
イヤウデアリマス、仍テ第三讀會ヲ省略シ
委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)日
程第二十五、教育改善及農村振興基金特別
會計法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、
委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長千葉宮次
郎君

○副議長(小泉又次郎君) 別ニ御發議ガナ
イヤウデアリマス、仍テ第三讀會ヲ省略シ
委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)日
程第二十五、教育改善及農村振興基金特別
會計法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、
委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長千葉宮次
郎君

○副議長(小泉又次郎君) 別ニ御發議ガナ
イヤウデアリマス、仍テ第三讀會ヲ省略シ
委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)日
程第二十五、教育改善及農村振興基金特別
會計法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、
委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長千葉宮次
郎君

○副議長(小泉又次郎君) 別ニ御發議ガナ
イヤウデアリマス、仍テ第三讀會ヲ省略シ
委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)日
程第二十五、教育改善及農村振興基金特別
會計法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、
委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長千葉宮次
郎君

○千葉宮次郎君(登壇)
本案ハ至ッテ簡單ノ案デ
アリマスルガ、唯、農村振興上ニ重大ナル
關係ガアル故ヲ以テマシテ、委員會ニ於テ
ハ慎重審議ヲ盡シマシテ特ニ委員長田陣
君、其他ト當局トノ間ニ質疑應答ヲ重ネマシ
タ結果、政府提案ノ通り滿場一致ヲ以テ可決
致シマシタ次第デゴザイマス、此段委員會
ノ經過及結果ヲ御報告致シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 前會ノ續ニ付キ
質疑ノ通告ガアリマス——小島善作君

○小島善作君 私ハ本案ノ上程ニ際シマシ
テ、簡單ナル質問ヲ當局ニ致シタイノデア
リマス、農村振興ノ費用ニ付テハ昨年ヨリ
モ本年度ハ事業費ニ於テマシテ、所謂獎勵
費ニ於テマシテ、五十萬圓ノ増額ヲ見タ
ト云フコトハ、洵ニ農村トシテ喜バシキ事
デアリマスルガ、但シ昨午政府當局ノ申サ
ル、所ニ依リマスルニ云フト、農村振興費
ニ充ツル費目ハ極ク簡易ニシテ、短年月ノ
間ニ總テ完成スベキモノヲ以テ先ニスル
ト云フコトヲ仰シヤラレテ居ルノデアリマス
ガ、ソレハ御尤ナ事ト私共モ信ジマスル
ガ、確ニ本年ハ昨年ノ九目ニ三項目ヲ加ヘ
テ十二目ニナリマシタガ、マダソレ以上ニ
極ク簡單ニシテ、極ク急ヲ救フベキ最モ焦
眉ノモノガアルト私ハ信ズルノデアリマス
ベキ事柄ニ、三ニ付キ御意見ヲ伺ヒタイ
思フノデアリマス、ソレハ農具考案研究所
ノ設置デアリマス、此農具考案ニ付キマシ
テハ、勿論各府縣ノ農事試驗場ニ於テ、委
託ヲシテ研究セラレテ居ルヤウデアリマ
スルガ、農事試驗場ノ遺方ハ別ニ農事試驗
場ニ屬スル所ノ本業ガアル故ニ、唯、是ガ
名前ニ過ギナイノデ、新シキ道具ヲ持ッテ
來テ、サウシテ試驗場ニ陳列シテ置クト云
フニ過ギナイノデアリマス、甚ダ實際ヲ見
マスルト、少シモ試驗場アタリガ此農具研
究ト云フコトニ付テ、身ヲ入レテ居ラナイ
ト云フコトヲ見テ甚ダ寒心ニ堪ヘナイノデ
ス、固ヨリ此農具ハ各地方ニ依リマシテ、

事情ヲ異ニシテ居ル關係カラ一様ニハ參リ
マセズガ、但シ一様ニ參ラナイ故ニ、各府
縣ニ於テドウシテモ細カニ研究ヲシテ、其
地方々々ニ應ズルヤウナ適應ノ農具ヲ考案
シ、研究ヲスルト云フコトハ、ドウシテモ
ヤラナケレバナラヌノデアリマス、幾ラ今
日ノ文明ノ利器ヲ或ハ獎勵シ、或ハ普及
セント致シテモ、其土地柄ニ適當ナルモ
デナカッタナラバ、幾ラ普及シヤウト思フ
モ其實ハ舉ラナイノデアリマス、今日一般
ノ地方ヲ見マスト云フト、或ハ發動機ニ致
シマシテモ、或ハ其他ノ文明利器ニ於キマ
シテモ、高イ金ヲ農家ニ出シテ買ハセテ、
サウシテ其普及獎勵ヲシテ居ルヤウデア
ルガ、其事實ハ少シモ舉テ居ナイト云フヤ
ウナコトガ多イノデアリマス、徒ニ農家ハ
高イ金ヲ出シテ、サウシテ高イ機械ヲ抱イ
テ泣イテ居ルヤウナモノデアリマス、即チ
是ハ先ヅ卽チ和ガ壁ヲ抱イテ泣イテ居ルヤ
ウナモノデアルト私ハ思フノデアリマス、如
何ニ共同施設ノ方法ヲ講ジマシテモ、農具
ノ適當ナルモノヲ農家ニ授ケルト云フ方法
ヲ講ジナケレバ、ドウシテモ農業ノ促進ト
云フコトハ出來得ナイ、此意味ニ於キマシ
テ、農具ノ考案研究ト云フ此機關ヲ設ケル
ノ必要アリト思ヒマスガ、果シテ農林省ハ
ドンナ考ヲ持テ居ルカ、之ヲ御伺致シタイ
ノデアリマス、次ニハ金融機關ノ完備デア
リマス、農村ノ金融機關ニ付キマシテハ、
勿論農工銀行モアルシ、或ハ勸業銀行モ、
或ハ産業組合ノ中央金庫モアリマスガ、昨
年モ申上ダマシタ通り、實際此機關ト云フ
モノハ名ハ立派デアリ、機關ハ備テ居ル
ヤウデアリマスガ、農村ニモ之ヲ十分利用
スルト云フコトノ出來ナイノハ、甚ダ遺憾
ナ次第デアリマス、昨年當局ノ言ハレノ
ニハ、十分ナル機關ガ備テ居ルノデア
ルカラ、農村トシテモ其利用サヘスレバ宜
イデハナイカト云フヤウナ御答辯ガアッタ
デアリマスガ、甚ダ左様ナ答辯デハ私ハド
ウシテモ之ヲ御請ケスルコトハ出來ナイノ
デアリマス、免ニ勸業銀行ニシマシテ
モ、或ハ農工銀行ニシマシテモ、其町村ニ

貸付ケルコトヲ得ルト云フ條項ガアリマス
ルガ、其町村ニ於テ之ヲ借りヤウトスル場
合ニハ、少クモ二十名以上ノ保證人ガナケ
レバ貸與ヘルコトヲシナイノデアアル、當局
ノ昨年言ハレル所ニ依レバ、慈善ノ二銀行
ガヤテ居ルノデハナイ、物のノ上ニ返還ス
ベキ目的ヲ立テ、サウシテシナケレバ仕
事ガ出來ナイ、ソレハ勿論ノ話デアリマス
、併ナガラ、成程是等ノ機關ヲ農家ニ於
キマシテ利用ノ出來ルハ宜シイガ、又産
業組合ノヤウナモノガ設ケラレテ、ソレ
ガ完全ニ働イテ、産業組合デ之ヲ利用スル
コトガ出來レバ洵ニ結構デアルガ、是ガ利
用ノ出來ナイ一番最下級ノ農家ハドウシタ
ラ宜イノデアルカ、此最下級ノ農家ト云フ
モノ、此金融機關ノ缺ケテ居ルノハ、農
村振興ニ一番必要ナル、所謂最下級ノ農家
ニ此金融ノ機關ガ缺ケテ居ルノデアリマ
ス、一番最下級ノ農家ハ成程地方ニ於キマ
スルト云フト、産業組合ガ澤山出來テ居ル
ガ、昨年當局ガ説明サレルガ如ク、産業組
合ハ一万四千アルケレドモ、其成績ノ見ル
ベキモノガ少イカラ、所謂銀行ニハ全
ハ澤山アルケレドモ、中央金庫ノ金
ヲサウ融通スルト云フコトガ出來ナ
イ、已ムヲ得ズ蓄積シテ居ルト云フ御答
デアッタガ、全ク左ノ如クニ産業組合ノ成
績ト云フモノハ、事實ニ於テ左様ノ成績
モノガ多イノデアリマス、眞ニ立派ナ成績
ヲ舉ゲテ居ルト云フモノハ實ニ少イノデア
リマス、斯様デアリマスカラ、何トカシテ
此小サイ一番下級ノ農家ノ金融機關ト云フ
モノ、心配ヲシナケレバナラヌト思フノデ
アリマス、若シ物的ノ上ニ返還ノ目的ヲ立
テルコトガ出來ナイカラ、サウ云フコトハ
出來ナイト云フコトデ、捨テ、置クト云フ
コトデアッタナラバ、無産ニシテ勤勉ナル農
家ト云フモノハ、何時ニナツテモ有産家ノ
奴隸ニ終ラナケレバナラヌノデアリマス、
是ハ何トカ今日ノ場合ニ於テ急ニ此機關ヲ
設ケ、所謂昔ニ於ケル質取金融ノヤウナモ
ノデモ設ケルト云フコトニシタナラバ、大
變ニ最下級ノ農家ト云フモノハ、救済スル

コトガ出來ルデアラウト思フ、殊ニ甚ダオ
カシイノハ、近來政府ハ如何ナル方針ヲ以
テ、此銀行ノ整理統一ヲシテ居ルノデア
ルカハ分ラヌガ、私ノ地方ニ於キマシテハ、小サ
イ銀行業者ヲ統一シテ、サウシテ中央ノ銀
行ニ皆合併サシテシマフト云フ有様デア
リマスルガ、是等ハ殆ド最下級ノ農民ニ最
モ適當ナル金融機關ヲ、政府ガ奪取シテシ
マフト云フヤウナコトニ歸スルノデアリ
マス、何故ナラバ農村ノ一番小サイ所ノ最
下級ノ農民ハ、此地方ノ小銀行ニ依テ、資
本ノ融通ヲ受ケテ、サウシテ肥料モ買ヒ農
具モ買フト云フコトニシテ居、タノデア
リマスガ、大都會ノ大銀行ニ之ヲ併吞セラ
レシマフト、殆ド之ヲ利用スルコトガ出來
ナイ、併吞サレタ其翌日カラ銀行ノ態度ガ
變テシマツテ、何カ十分ナル所ノ擔保ガナ
ケレバ今度ハ貸スコトガ出來ナイ譯ニナ
タノダト云フ態度ヲ執、テ居ルノデアリマ
ス、成程一面ニ於テ所謂此資金ト云フモノ
ノ工業方面ノ資金ト云フモノ、潤澤ヲ
期スル上ニ於テ、小銀行ヲ併セテ、サウシ
テ大銀行ニ併吞セシメタト云フ意味合ハソ
レハ尤デアリマセウガ、一面ニ於テ農村ノ最
下級ノ所謂金融機關ヲシテ絶滅セセタト云
フコトハ、今日農村振興ノ唱ヘル場合ニ於
テ、洵ニ間違タ事デハナイカト私ハ考ヘ
ルノデアリマス、是等ノ點ニ付テ政府當局
ハ如何ナル考ヲ持テ居ラシヤルカ、御伺
致シタイト思フノデアリマス、次ニ申上
ゲテ御伺致シタイノハ、農事講習講話ノ常設
場デアリマス、此農事講習講話ト云フコト
ハ、元ヨリアルコトデアツテ、今日流行タ
コトデナイト云フヤウニ見ル人ガアリマ
ス、實際今日農村振興ヲ圖ルト云フコトニ
付キマシテハ、深遠ノ學理ヲ授ケテ、幾多
ノ年月ヲ經テ、サウシテ養成シテ仕上ダ
ト云フ者ニ此農村振興ノ仕事ヲサセルト云
フコトハ、洵ニ手緩イコトデアアル、一面
ニ於テソレヲ行フト云フコトハ勿論必要デア
リ、現在ヤテ居ルコトデアルガ、手取早ク農
學ノ如何ナルモノカト云フコトヲ理解セシ
メテ、實際ニ農事ニ從事シテ其效果ヲ舉ゲ

ヤウト云フノハ、農事ノ所謂短期講習講話
ト云フモノガ最も適切ナル必要ナモノデア
ルト私ハ信ズルノデアリマス、是ハ各府縣
ニ唯、委セテ置クト云フダケデハ、中ニ實
行出來得ナイカラ、ドウシテモ各府縣ニ常
設場ヲ設ケテ、有ユル青年男女ヲ其處ニ寄
セテ、サウシテ、當ニ講習講話ヲ施シテ農業
ノ學理ヲ授ケ、實地ヲ教ヘルト云フコトニシ
タナラバ、直ニ農村振興ノ實ヲ舉ゲルト云
フコトヲ期スルコトガ出來ルト私ハ信ズル
ノデアリマス、此點ニ付キマシテ、當局ハ
如何ナル考ヲ持テ居ルカ、御尋ヲ致シタイ
ト思フ、其次ニモウ一ツ御伺ヲ致シタイノ
ハ、農業勞働仲介所ノ設置デアリマス、而
モ農村ハ誰ヲモ仰シヤルガ如ク、農村ノ青
年男女ハ段々都會ノ光景ニ憧憬レテ、サウシ
テ都會ニ趨テシマフ、是ハ時勢ノ然ラシム
ル所デハ已ムヲ得ナイト云フモノ、一面ニ於
テ之ニ對スル所ノ救済ノ機關ガナケレバナ
ラナイ、或ル學者ハ農村ハ人口ガ過剰デア
ル、人口ガ過剰デアルカラ勢ヒ時代ニ伴
テ、都會ノ方面ニ青年男女ハ趨テシマフ
ノデアアル、斯ウ言フ人モアルガ、農村ニ於
テ人口過剰ト云フ意味ハ、農村ノ人口ハ農
村ノ人間ヲ能ク調ベテ見ルト云フト、一人
前ノ勞働能率ヲ持テ居ルト云フ者ハ、其家
ニ對スル一人キリ位居ラナイデ、アトハ大
概女ノ人ヤ、或ハ子供ヤ、或ハ病人ヤ、免
ニ角半分ノ能率キリ持テ居ラナイ所ノ人
達デアリマス、斯ウ云フヤウニ數ハ多ク
モ、勞働能率ト云フモノガ少イノデアリマ
ス、所謂量ニ於キマシテハ成程人口過剰デ
アルカ知ラナイガ、質ニ於テ大ナル缺之ヲ
シテ居ルノデアリマス、此缺之シテ居ル勞
力ヲ何トカ補給ノ途ヲ考ヘテヤラナケレ
バ、目下農村ノ振興ヲ幾ラ圖ラウトシテモ
圖ルコトハ到底出來ナイノデアリマス、此
意味ニ於テ政府當局ハドンナ御考ヲ持テ
居ルカ、私ハ御伺ヲ致シタイト思フノデア
リマス、終リニモウ一ツ御伺ヲ致シタイノ
ハ本問題ガ委員會ニ掛リマシタ當時ニ於キ
マシテ、長田サランカラ御質問デアツカ
ト思ヒマスルガ、甘藷並ニ小麥ト云フモノ

ニ付テ御質問ガアツタヤウデアリマスルガ、其時ニ政府當局ノ御答ニ依ルト、先ヅ甘諸ト云フモノ、試験ハ沖繩縣ニ於テヤルノデアル、斯ウ云フヤウナ御答ガシテアルヤウデアルガ、甚ダ此點ニ付テ私ハ迷ヲ生ジテ居ルノデアリマス、何故ナラバ甘諸ト云フモノハ御承知ノ如ク熱帶地方ノ產物デ、一段溫帶寒帶ノ方面ニ移シタルノデ、是其通リデアリマスルガ、而モ此東北地方ニ於ケル食糧増殖ノ目的ヲ以テ此繁殖ヲ圖ラウトスル此計畫ニ於テ、沖繩縣ニ於テ試驗ヲスルト云フコトハ何事デアアルカ、沖繩縣方面ノ氣溫ト東北方面ノ氣溫ト同一デナイト云フコトハ是ハ明カデアアル、但シ花粉交媒ノヤウナ手段ヲシテ、サウシテ種ヲ取ルト云フダケナラバソレデ宜シイガ、沖繩デヤツタ所ノ品種ヲ東北方面ノ寒イ所ニ持ッテ來テ、大ナル效果ヲ得ヤウト云フコトハ、是ハ難イ事デアリマス、然ルニ拘ラズ沖繩縣ニ於テ試驗ヲスルト云フ御答辯ダト云フコトハ、甚ダ私共ハ合點ガ行カナイノデアリマス、是ハ少シク技術ノ方面ニ涉ルカモ知レマセヌカラ、先ヅ此位ニシテ私ハ止メマスルガ、ドウゾ是等ニ付テ確カリシタ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス(拍手)

〔政府委員高田松平君登壇〕

○政府委員(高田松平君) 只今ノ質問ニ御答致シマス、第一農具ノ考察研究所ニ付テノ意見ト云フコトデアリマス、此事ニ付キマシテハ數年來、或ハ建議案等モ提出サレテアリマスルノデゴザイマスケレドモ、現在政府ノ考デハ、大正十四年度ヨリ農村振興費中ニ、農具ノ改良普及獎勵費ヲ置キマシテ、之ニ依リテ優良農具ノ發明者ニ對シテ相當ノ獎勵金ヲ交付シ、而シテ優良ナル農具ハ之ヲ共進會等ヲ開イテ、各方面ノ農業者ニ紹介スルカラシテ、各方面ノ農業者ニ紹介スルカラシテ、現在ノ所デハ農具考察研究所上云フモノヲ新ニ設クル意思ハ持ッテ居リマセヌ、第二ハ農村ノ金融機關ノ問題デアリマスガ、之ニ就キマシテハ産業組合ノ發達助長、農業倉庫ノ普及、是等ニ依ッテ所謂小農階級ノ金融ヲ圓滿ニスルト云フ

方法ヲ執ル積リデゴザイマス、但シ一方低利資金ノ融通及簡易生命保險ノ積立金ノ流用等ヲ、成ベク農村ニ多カラシムルト云フ方針ニ付キマシテハ、出來得ルダケ其方ニ向ッテ進ミタイト思フテ居リマス、其御質問ノ中デ小銀行ノ合併ニ依ル云々ト云フ事柄、是ハ私ヨリ御答申サズシテ、大藏當局ヨリ御答申スコト、思ヒマス、成程小銀行ヲ合併シテ中央ニ之ヲ合セルト云フコトニ付キマシテハ、一長一短アルト思ヒマスルガ、免ニ角モ銀行ノ合同ノ方針ヲ執ルト云フコトニ付キマシテハ、農村金融ト云フ問題ヲ離レテ、金融上ノ相當ノ理由ガアツテ、之ヲ實行スルコト、存ジマスカラ、其點ニ付テハ大藏當局ヨリ御答辯アルノガ當然ダト信ジマス、次ニ農事講習所ノ常設如何、是モ成程必要デゴザイマセウ、併ナガラ農村振興ノ事ニ付キマシテハ、農事講習所ノ常設ヲ爲スヨリモ、農事試驗場其他ヲシテ、優良ナル農業ノ學問ト經驗ノアル人物ヲ造ル其技術員ヲ養成シテ、而シテ之ヲ各村ノ農會ニ配置シテ、農村ニ知識ノ普及ヲ圖ルト云フコトガ最善ノ方法ト信ジマス、大正十五年度ヨリ農村振興費中ニ、各府縣ニ於テ農業技術員ヲ養成スル場合ニ於テ、之ニ對シテ相當ノ補助ヲ爲シ、尙ホ此養成ニ依ッテ得ル所ノ技術員ヲ各町村ニ配置シテ、農村ノ發達ニ資セントスル考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、次ニ農村振興費中ノ甘諸ノ試作及試驗ヲ、之ヲ沖繩縣デヤルノハ氣候風土ガ異ナリテ居ル關係上已ムヲ得ナイカドウカ、斯ウ云フ御意見ノヤウニ思ヒマシタガ、是ハ御承知ノ通り沖繩縣ニ於キマシテハ氣候ノ關係上、甘諸ニ花ガ咲キマシテハ、人工交媒ヲスルノガ非常ニ便利デアリマス、即チ甘諸ノ種類ノ改良ヲスルト云フコトハ、沖繩縣ニ於テ種々ノ試驗ヲ爲シテ優良ナル種類ヲ作リマシテ、之ヲ漸次各府縣ニ配付スル、成程沖繩ノモノヲ直ニ或ハ東北ニ持ッテ來テ、是ハ適當スルヤドウカト云フコトニ付キマシテハ、色ミノ試驗研究ヲ遂ゲル積リデゴザイマス、唯、此甘諸ノ試驗ト云フコトハ、氣候ノ關係上沖繩ニ

於テ爲スコトガ、最も便利デ有利デアルカラ、此費用ヲ沖繩ニヤツテ、而シテ此試驗ヲ爲サシメルト云フコトニ過ギナイノデアリマス、以上五點ニ付キマシテ御質問ノ要項ヲ御答シタ積リデアリマス

〔小島善作君登壇〕

○小島善作君 マダ一寸分ラナイ所ガアリマスカラ、少シ詳シク御伺フ致シタイト思ヒマス、成程只今仰シタル通りモノデアアルカモ分ラナイガ、此講習講話ト云フコトハ、ソレハ町村ニ於ケル所ノ技術員ヲ養成スルノト大變ニ違ヒマス、町村ニ於ケル所ノ技術員ヲ養成スルコトハ、ソレハ最も善イ事デアリマス、善イ事デアリマスガ、技術員ヲ養成シテ、其技術員ガ必ズ毎ニ其效果ヲ舉ゲ得ルコトガ出來ルカト云フト、ソレハ當然出來ナイコトデアリマス、何レノ町村ニ於テモ二百戸——少イ町村デモ二百戸、大キナ町村デハ六百戸或ハ七百戸モアルノデアリマスカラ、其家ニ一々此技術員ガ廻ッテ歩イテ、一々己ノ意思ノ如ク指導イ事デアリマス、而シテ是ガ養成ヲ致シマシテモ、一年デ其養成ガ十分ニ行ク筈ハナイノデアリマス、デスカラ一面ニ於テソレヲ行フコトハ宜シイガ、一面ニ於テ一般農事ニ携ハル所ノ青年男女ヲシテ、農學ヲ授ケテ、サウシテ實地ヲ教フルト云フコトガ、所謂講習講話ト云フモノ、必要ナル所デアリマス、是ガ私ト少シク違フヤウデアリマスルガ、此點ニ付テ一寸詳シク御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ甘諸ニ付テノ御話ハ成程御尤、沖繩地方ニ於テ品種ノ改良ヲスルト云フノニ付テハソレハ御尤デアリマス、成程花粉交媒ニ依ル所ノ品種ノ改良ハ、先ヅ日本ニ於キマシテハ沖繩デナケレバ出來マスマイ、沖繩ノ農事試驗場ニ於テモ是ハ前年ヨリ最早ヤツテ居ル事デアリマス、併ナガラ、之ヲ東北ノ寒イ處ヘ持ッテ行ッテ直ニヤルト云フコトガ、直ニヤリ得ラル、カ否カ、是ハ私等ノ經驗ニ依レバ、直ニ是ガ實效ヲ現ハスコトガ出來得ナイト私ハ確信シテ居ルノデアリマス、少クモ寒

〔政府委員高田松平君登壇〕

○政府委員(高田松平君) 先ヅ以テ第二ノ御質問ニ御答シマス、東北方面ニ適用スル甘諸ノ種類等ニ付テハ、農事試驗場ノ奥羽支場ニ於テ特ニ甘諸ニ付テノ現在アル所ノ種類ニ付キマシテ、種々研究調査ヲ爲シテ居リマス、成ベク東北ニ適スル所ノ甘諸ヲ得タイト十分研究シテ居ル次第デゴザイマス、決シテ東北地方ニ於テノ甘諸ノ栽培ニ付テ、唯、沖繩縣デ優良ナル種類ガ出來タカラ、ソレヲ直グニ東北ニ持ッテ行ッテ、サウシテ獎勵ガ出來ルトハ私ハ信ジテ居リマセヌ、東北ハ東北デ奥羽支場ニ於テ相當ノ研究ヲ爲シテ居リマスカラ、此段御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、第一ノ講習所ノ常設機關ノ問題、是ハ御意見トスレバ御尤デゴザイマセウガ、今ノ政府ト致シマシテハ、國費ヲ以テ各地方ニ常設ノ講習所ヲ設クル

イ處ヘ持ッテ行ッテ、相當ノ效果ヲ得ヤウト云フモノハ、漸次寒イ方ニ及ボシテ行ッテ、其種類ヲ取ッテ試作ヲシタルノデナケレバ、效果ト云フモノハ舉ガル筈ハナイノデアリマス、故ニ先ヅ之ニ對スル所ノ食糧増殖ノ目的ニシテモ、農業經濟ノ能率ヲ増進スル上ニシテモ、免ニ角甘諸ト云フモノヲ東北地方ニ栽培セシメテ見ヤウト云フナラバ、少クモ東北地方ニ目下存在シテ居ル所ノ種類ヲ取ッテ、十分ニ之ヲ研究シテ、サウシテ其土地ニ暫ク慣レテ居ル所ノ習慣性ヲ利用シテ、東北地方ニ新シキ立派ナ種類ヲ拵ヘルト云フコトガ最も必要ナ事デアルト思フ、然ルニ拘ラズ學理一方ノ沖繩地方ダケノ所謂花粉交媒ノ效果ヲ見テ、之ヲ直ニ東北ニ用キルト云フコトハ、甚ダ迂遠デアラウト思フ、是ハ單リ私バカリデハナカラウト思フ、多少ナリトモ農業ニ關係シタ知識ヲ持ッテ居ル者ハ、此位ノ事ハ分ルコトデアルト私ハ信ズル、此點ニ於ケル私ハ當局ノ考ガ甚ダオカシナ考デアルト思フノデアリマスガ、モウ少シ此技術ニ付テ、東北方面ニ於テ、モウ少シ效果ヲ舉ゲルヤウニ忠實ニ御研究ヲサレタイコトヲ私ハ願フノデアリマス

意思ハアリマセヌ、只今ノ御説ニ依レバ、

國ガ相當ノ補助ヲ出シテ、府縣ノ農事試驗

場ニ於テ農業技術員ヲ養成シテモ、是ハ農

家ノ各戸ニ就テ指導スルコトハ出來ナイノ

デハナイカト云フ御意見ノヤウデゴザイマ

シタガ、各村一人ツ、位ノ技術員ヲ成ルベ

ク配當致シマシテ、成ベク各戸ニ就テ深切

丁寧ニ指導獎勵ノ任ニ當ラシメタイト思

テ居ル積リデアリマス、而シテ常設講習所

ノヤウナモノヲ置クヨリモ、現在ノ各府縣

ニ在ル所ノ縣立ノ農學校ヲ相當ニ利用致シ

マスレバ、漸次農民ノ總テノ階級ニ向テ農

業教育ノ普及ガ出來ルト信ジテ居リマス、

現在ノ所デハ小島君ノ御意見ノヤウニ、國

費ヲ以テ常設ノ講習機關ヲ設ケルノ考ハ

持テ居リマセヌ

○副議長(小泉又次郎君) 本案ノ第二讀會

ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、第二讀會

ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認

メマス、仍テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマ

シタ

○作間耕造君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り

可決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ

御異議アリマセヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認

メマス、直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議

題ト致シマス

教育改善及農村振興基金特別會計法中

改正法律案 第二讀會(確定議)

ニスルコトニ御異議アリマセヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認

メマス、仍テ其通りニ致シマス、日程第

二十七、議院法中改正法律案ノ第一讀會ノ

議ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス、山口

義一君

第二十七 議院法中改正法律案(政府

提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 議院法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノ

ト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月四日

議院法中改正法律案

(政府提出)委員長 黒住 成章

衆議院議長粕谷義三殿

【別紙】

(小字及ハハ委員會修正)

議院法中左ノ通改正ス

第四十條ニ左ノ一項ヲ加フ

豫算案カ貴族院ニ移サレタルトキハ豫

算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨ

リ二十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報

告スヘシ

停會ノ日數ハ審査期間ニ算入セス

○山口義一君 議院法中改正法律案ノ委員

會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、委員會

ヲ開キマシタルコト三回デゴザイマシテ、

本黨ノ原夫次郎君ヨリ御質問ガゴザイマシ

テ、主ニ豫算ノ先議權ノコトデゴザイマシ

タガ、豫算ノ先議權ニ付テ此貴族院ノ豫算

ノ審査期間ニ制限ヲ設ケルト云フコトニナ

ルト、此衆議院ノ豫算ノ先議權ヲ形式上ハ

認メラレテ居ルケレドモ、實質上ニ於テハ

却テ尊重サレナイコトニナルノデアルカラ

シテ、此豫算審査期間ノ制限ヲ附シテコ

ソ、本當ニ此衆議院ノ豫算ノ先議權ヲ尊重

スルコトニナルノデアルト云フヤウナ答辯

ガアツタノデアリマス、ソレカラ又本黨ノ

丸山君ヨリ、政友會ノ案ガ一箇月モ前ニ提

出サレテ居ルノニ、何ガ故ニ政府ガ同ジ案

ヲ出シタルデアルカト云フコトヲ、政府委

員ニ質問致シタル所ガ、政府委員ノ方デハ、

樞密院其他色々ノ手數ガ掛タカラ遅レタ

ノデアルト云フヤウナ御答辯ガアツタノデ

アリマス、ソレカラ横山金太郎君ヨリ、停

會ノ日數ハ之ヲ通算シナイト云フコト、ソ

レカラ衆議院ノ貴族院ノ兩方ニ三日宛延バ

セルト云フヤウナコトニスルト云フ考ハ政

府ニナイカト云フヤウナコトヲ、政府委員

ニ質問サレタルデアリマスルガ、ソレニ對

シテ政府委員ハ一日考慮サレマシテ、サウ

シテ御答辯サレマシタル所ニ依リマスル

ト、政府ハ原案ノ通過ヲ望ムノデアツテ、

之ニ對スル修正ノ意見ハ今持テ居ナイト

云フ、斯ウ云フヤウナ御意見デアツタノデ

アリマス、質問ノ有様ハサウ云フ風ナ狀況

デゴザイマシテ、最後ニ第三日ノ日デアリ

マシタ、モウ質問モ打ち切リマシテ、サウシ

テ政友會ノ砂田代議士ヨリ修正意見ガ出マ

シタ、ソレハ次ノ如クデアリマス、第四十

條ニ左ノ一項ヲ加フ「豫算案カ貴族院ニ移

サレタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受

取リタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終リ

【原夫次郎君登壇】

○原夫次郎君 只今山口君カラノ御報告ヲ

拜承致シタルデアリマスルガ、私ハ先ヅ委

員長ニ——山口君ハ委員長ノ代理デアリマ

スケレドモ、委員長ニ伺フテ置キタイコト

ガアルノデアリマスガ、一體此本案ハ去ル

二月十七日ニ上程セラレタルデアリマシ

テ、其當時ニ於キマシテ政府提出案ト議院

ノ政友會案ト、兩方一括シテ議題ニ供セ

ラレテ、吾々ハ審議ヲ致シタル者デアリマス、

委員ニ於テモ亦同様ニ此二ツノ法案ヲ一括

シテ付託ヲ受ケテ、是ガ審議ヲサレタモノ

デアリマス、然ル所此兩法案ヲ一括シテ審

議ヲ爲シタル其最後ニ於テ、委員砂田君カ

ラ先程山口君ノ述ベラレタ如キ修正意見ガ

提出セラレタルデアリマス、而シテ其修正

意見ナルモノハ、政府案ニ對シテダケノ修

正デアツテ、政友會案ニ對シテハ修正ヲシ

ナイノデアル、斯ウ云フ御答辯デアリマシ

タ、如何ニ、私ハ其修正ノ動議者ニ對シテ、如何

ナル理由デ斯ノ如キ修正ヲ一方ニシテ、一方

ニ爲サナイノデアルカト云フコトヲ御尋致

シタ場合ニ於テ、委員會ニ於テ砂田君ノ言

ハル、ノニハ、政府案ハ修正スルノデアル

ガ、政友會案ナルモノハ、何所マデモ無修

正デアツテ、張リタイ考デアルカラ、修正ヲシ

ナイノデアル、斯ウ云フ御答辯デアツタノデ

アリマス、而シテ政府案ノ其修正案ニ付テ

ハ、委員會ニ於テ討議ヲ爲シ、其討議ニ依

テ先程山口君ノ報告ノ如キ結果ヲ得タルノデ

アリマス、之ニ對シテハ、先程山口君ノ御

報告ノ通り、間違ヒハナイノデアリマスガ、

マス、即ち政友會案ニ付テハ議決ヲ要セザルモノト、委員會ニ於テ決議ヲ致シタカラシテ、此段報告スル、斯ウ云フ報告書ガ吾等ニ參テ居ルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、委員會ニ於テハ決議ヲ爲サナカッタノデアリマス、斯ウ云フ矛盾ノアルノハ一體如何ナルコトデアルカ、更ニ此點ニ付テ御導致スノデアリマス、尙ホ此點ニ付テ先程申上デマシタ如ク、議長ニ於テモ此報告ヲ受取テ場合ニ於テハ、往々ニ斯ウ云フ大キナル間違ヲ爲シタル場合ニ於テハ、事務局ニ於テソレ「チャント注意ヲ致シテ、斯ウ云フ典例ニ通ジナイ、規則ニ通ジナイ委員長ガ間違ヲスルコトガアルカラ、ソレヲ能ク教ヘテ指導シナケレバナラヌモノト思ヒマスガ、一體議長ハソレ等ニ付テ如何ナル處方ヲ執ッテ居ルノデアルカ、之ヲ御導致シテ置キマス

○山口義一君 先程私ノ答辯ニ依ッテ大體明カデアリマス、原君御一人ガドウモ御分リニナラナイヤウデアリマス、原君ハ委員會ニ於テモ御一人ダケガ、ドウモ幾多ノ點ニ付テモ御分リニナラナイヤウデアリマス、此處ハ學校デハアリマセヌ、原君一人ニ向テ教ヘル譯ニハ參リマセヌカラ、私は是レ以上答辯スルコトヲ避ケマス

○副議長(小泉又次郎君) 原君ニ御答致シマス、原君ノ所謂政友會案ナルモノハ、委員長ヨリ報告書撤回ノ申出ガアリマシタ、仍テ一旦上程サレマシタ日程ヨリ之ヲ省イタノデアリマス、而シテ院議ニ諮ラザリシ先例モアリ、又別ニ何等ノ規定モナイカラ左様取計タノデアリマス、宜シク御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○原夫次郎君 只今議長カラ報告書ノ撤回ガアツタコト云フコトデアリマスガ、私ハ左様ニ承テ居ナイノデアリマス、ソレヲ議長ニハ何ニ依ッテサウ云フ御話デアリマスカ、唯、本會ニ於ケル報告デ知ラレタシト云フノデアリマスカ

○副議長(小泉又次郎君) 御答致シマス、委員長ヨリ報告書ノ撤回ノ申出ガアツタノデアリマス

○原夫次郎君 ソレハ口頭デアリマスカ、文書デアリマスカ

○副議長(小泉又次郎君) 口頭デアリマス

○原夫次郎君 口頭デサウ云フコトガ出來ルノデアリマスカ——御答辯ガナケレバ此程度ニ於テ止メテ置キマス

○副議長(小泉又次郎君) 本案第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

○作間耕逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議決ト致シマス

議院法中改正法律案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)——先刻一時後廻シニ致シマシタ日程第二十六、明治三十八年法律第十七號中改正法律案、專賣局設置運轉資本補正ニ關スル件ノ第一讀會ヲ續キ、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長堤清六君

第二十六 明治三十八年法律第十七號中改正法律案(專賣局設置運轉資本補正ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一明治三十八年法律第十七號中改正法律案(專賣局設置運轉資本補正ニ關スル件)(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月二日

明治三十八年法律第十七號中改正法律案委員長 堤 清六

〔堤清六君登壇〕

○堤清六君 只今上程ニ相成リマシタル法律案ハ、去ヌル二月十三日政府ヨリ本會議ニ御提出ニ相成リマシタル所、本會ニ於テ委員付託ト相成リマシタル明治三十八年法律第十七號中改正法律案、專賣局設置運轉資本補正ニ關スル件デアリマス、同法ノ第一條ニ「專賣局及製鐵所ノ設置運轉資本ニ不足ヲ生シタルトキハ大藏大臣ハ借入全ヲ爲シ又ハ融通證券ヲ發行シテ一時之ヲ補足スルコトヲ得、但シ其ノ金額ハ專賣局ニ在リテハ九千萬圓、製鐵所ニ在リテハ九千八百萬圓ヲ超過スルコトヲ得ヌ云々」ト相成テ居ルノデアリマス、此專賣局ノ運轉資本ヲ、二千萬圓増額致シマシテ、即チ一億一千万圓ト改正致シ、作業會計法ニ依ル專賣局ノ資本金一千万圓ト合計致シマシテ、總額一億二千万圓ヲ運轉資本トセントスルモデデアリマス、而シテ政府ノ趣旨辯明ハ、提出ノ際本會ニ於テ御説明ガアリマシタノデゴザイマスヲ以テ、之ヲ省略致スコトニ致シマスガ、煎ズレバ專賣局ガ一般社會ノ經濟界ニ並行致シマシテ、其事業ノ發展ニ伴ヒテ資本金ノ増額ヲ必要トスルコトデアリマス、由來本法ノ歴史ヲ鑑ミマスルニ、明治三十八年ニ制定サレマシテ以來、四回ノ改正ガ行ハレテ居ルノデアリマス、而シテ其制定ノ當時ニハ七百萬圓、明治三十九年ニハソレヲ一千万圓、四十二年ニハ二千万圓ニ相成ッテ居リマス、其後十四箇年ヲ經過致シマシテ、大正九年ニハ九千万圓、即チ現行法デゴザイマスガ、之ヲ今回一億一千万圓トセントスルモノデアリマス、委員會ハ會議ヲ開キマスルコト三回、慎重審議ノ結果、政府提出案ガ相當ナルモノト認メマシテ、全會一致ヲ以テ賛成可決ニ相成リマシタ次第デゴザイマス、本案ハ單ナル法律改正案デアリマスケレド

モ、直接間接ニ影響スル所ガ頗ル廣ク、或ハ商業のニ、或ハ工業のニ、國民生活ニ密接ナル關係ヲ有スルガ故ニ、委員諸君モ熱心ニ實際問題ニ付テ論議計ヲサレマシタノデアリマス、仍テ主ナル質問應答ノアリマシタ要點ヲ摘約致シマスレバ、以下六點ニ相成ッテ居リマスルガ故ニ、其大要ヲ御報告申上デマス、其第一點ハ運送制度方針ヲ改善サレル御意思ナキヤ如何ト云フコトデアリマス、專賣局ノ專賣品ヲ運送ナサル、其方針ハ、多ク一定ノ請負者ヲ定メテ其人間ニノミヤラセル、殆ド專賣のニ此輸送方針ヲ定メテアラル、故ニ實際ノ當業者カラ之ヲ見マスルトキハ、時代ニ相應ハシカラザル、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ高イ料金を以テ政府ハ之ヲ運送シツ、アル、此廻送方針ニ付テ、之ヲ公開的ニ入札其他ノ方法ニ依ッテ、最モ利益アル方法ヲ御採リニナル御意思ハアリマセヌカ、斯様ノ御問デアシタノデアリマス、專賣局ノ御答辯ハ之ニ對シテ、競争入札ニスルコト云フコトニ付テハ、專賣品ハ一般商品ト違ヒマシテ、甲乙間ニ賣買ガ成立シテ、甲地ヨリ乙地ニ送リマシテ、ソレヲ以テ事足レリトスルノデアリナイノデアル、各方面ニ於ケル地方支局、若クハ地方出張所等ニ於テ、常ニ專賣品ノ不足ヲ來ササルヤウニ、而シテ又或ル部分ニ於テ餘リニ充實ニ過ギテ、製品ガ滯留スルコト云フコトモ專賣局トシテハ考ヘナケレバナラヌ、故ニ「簡單々々」ト呼フ者アリ成ベク圓滑ナル方法ヲ採ラナケレバナラヌカラ、直ニ之ヲ一般入札ニシテ、最モ安イ方法ヲ以テ取扱フコト云フコトハ、之ヲ斷片的ニ考ヘマスレバ、或ル一ノ荷物、或ル一ノ汽船輸送等ニ於テ、高キニ失スル場合モアルデアラウケレドモ、全般カラ考ヘテ見テ、普通商品ノ如ク取扱フコトガ出來ヌ、故ニ能ク意ノ在所ハ考慮致スケレドモ、仰シタル通り今直ニ出來ルト云フコトハ申上デザル、斯様ナ御説明デゴザイマシタ「簡單々々」ト呼フ者アリ「簡單ニヤリマス、其第二點ハ煙草元賣捌人ノ政府與黨の態度、及ビ元賣捌人銓衡ノ方針ニ付テノ御

質問デゴザイマシタ、是ハ煙草元賣捌人ヲ指定サレマストキニ、其元賣捌人ノ立場ガ與舊ノ關係デアルナラバ、頗ル是ガ寛大ニ取扱ハレル、若シソレガ反舊ノ關係ニ在ル人デアラナラバ、或ハ之ヲ苛酷ニト云フデモアリマセヌガ、頗ル不便ガ多ク、之ニ對シテハ政府ハ如何ナル方針御定メニナラセラルカ、斯様ナ御質問デアリマス、其次ニ政府ノ與舊ノ販賣人ニ對シテ、常ニ政府ノ鼻息ヲ窺フテ、往々ニシテ一般公平デナイ嫌ガアルガ、之ニ對シテ政府ハ如何ナル訓示ノモノヲ發シテ、左様ナ場合ニ於テハ政府ノ立場ヲ考慮セズトモ宜シト云フガ如キ内訓ヲ發シテ呉レル御意思ハナイカ、斯様ナ御質問デアリマス、ソコデ是ハ三本參與官カラ特ニ御答辯ガゴザイマシタガ、政府ガ與舊ニ好意ヲ持テ居ル者デモナケレバ、或ハソレニ許可スルト云フヤウナコトハ絕對ニアリマセヌ、殊ニ私共ガ在野黨當時ニサウ云フコトヲ屢、聞キマシテ、隨分ソレヲ攻撃シタコトモアルノデゴザイマスケレドモ、實際ニ其局ニ當レバ、左様ナ事ハ中々出來ヌノデアアル、斯様ナ明カナル御答辯デゴザイマシタ、殊ニ内訓ヲ發スル云々ト云フコトデアリマスケレドモ、此事實ノ應答ガ社會ニ發表セラレルナラバ、寧ろ内訓ヲ發スルノ必要モナイヤウニ感ズル、此方々却テ效果アルヤウニ感ズルカラ、左様ニ御承知ヲ願ヒタイ、斯様ノコトデゴザイマシタ、尙ホ又御説明ガアリマシタノハ、煙草元賣捌人ハ三箇年ノ契約デアリマシテ、現在ハ四百四十二名アル、サウデゴザイマス、而シテ其更迭ノ當時ニハ多クハ事務ノニ考ヘテ、其人ノ人格トカ、或ハ經驗トカ、若クハ資産状態トカ云フヤウナモノヲ參酌シマシテ、成ベク更迭ノ際ト雖モ、前經營者ヲシテ之ヲ爲サシムルト云フ方針ヲ執ルガ故ニ、アナタ方ノ御心配ニナルヤウナコトハ政府ニ於テ考ヘテ居リマセヌ、斯様ナ御答辯デゴザイマシタ、要スルニ更迭ノ際モ多キハ七名、若クハ十二名、即チ二十分ノ一位ノ程度以下デアール、斯様ノ御答辯デゴザイマシタ、其第三

點ハ、是ハ一部ニ若干ノ疑義者ガアルヤウニ思ハレマスカラ、特ニ御報告ノ中ニ加ヘテ置キタイノデアリマス、煙草價值引上ノ際ニ、元賣捌人ノ手持品ヲ賣下價當時ノ價值、即チ前價值ヲ以テ賣ラセナカッタノハドウ云フ譯デアアルコト云フ御質問デアリマス、之ニ對シテ政府ノ御答辯ハ、最近ニ於テ十一月七日ニ突然價上ヲ致シタノデアリマスガ、此政府ノ値上ハ絕對ニ秘密ノ方針ヲ執テ、相成ラスルト云フコトガ無いノデアレニ、是ガ亦斯様ニシナケレバ色々ノ弊害ガ其間ニ生ズル、斯様ナ御答辯デゴザイマス、殊ニ賣捌價值ヲ先値ニシテ置カナカッタノハドウ云フコトカト云フ御質問ニ對シテ、ソレハ法律ニ、煙草ハ定價ヲ以テ販賣ス、是ガ明ニナッテ居リマシテ、此定價ヲ、例ヘバ數島十五錢ノ定價ヲ改正致シマシテ十八錢ト致シマスレバ、即チ定價ガ十八錢デアリマスルカラ、法律上如何トモ致方ガナイノデアアル、又實際ノ取扱カラ見テ甚ダ困難デアアルカラ、ソレハ到底出來ナイ事デアルト云フ御答辯デアリマス、其第四點ハ、煙草價上ニ依テ一般ノ耕作者、葉煙草製造業者ニ利潤ヲ均霑セシムル意思ハナイカ、即チ煙草價上シタルト同時ニ賠償價額ノ値上ヲスルコトヲ御考ニナラヌカト云フ御質問デアリマス、之ニ對シマシテ政府ノ御答辯ハ、煙草賠償價額ノ引上ニ付テハ、十三年度ニモ十四年度ニモ値上ヲシテ居ル、要スルニ其時ノ實際經濟社會ニ鑑ミテ、其賠償價額ヲ定ムルモノデアアル、而シテ其定ムルニ當リマシテ第一ニ生産費ヲ考ヘマス、第二ニハ其地方ノ耕作ノ爲メ代耕物ノ實況ヲ考ヘマス、第三ハ生産品其物ノ價值ヲ考慮スル、此三ツノ點ニ基礎ヲ置イテ價值ヲ定ムルノデアリマシテ、即チ優等葉ト稱スル最モ優良ナル葉ニ對シマシテハ、是ハ作人ハ非常ニ不利トスルノデアリマス、殊ニ產額ガ少ウゴザイマスカラ、之ニハ一番割ノ好イ方法ヲ以テ賠償價額ヲ定メテ居ル、中等葉ハソレニ次ギ、下等葉ニ至リマシテハ、實ハ非常ニ多過ギル

カラ、賠償價額ハ成ベク生産費ヲ基準トシテ定メテ居ルカラシテ、今直ニ税金ヲ値上シタルガ故ニ、此葉煙草ノ賠償價額ヲ値上スルト云フコトハ、直ニ實行シ兼ねルト云フ御答辯デアリマシタ、其第五點ハ、曹達灰工場ニ對シテ、鹽供給ニ關シテ圓滑ニオヤリニナル御考ハナイカト、斯様ナ御質問デアリマシタ、曹達灰ハ申スマデモナク總テ化學工業ノ殆ド根本ノ原料デアリマス、而シテ此曹達灰ヲ製造致シマスルニ、曹達灰百斤ヲ製造スルニ鹽百五十斤ノ原料ヲ要スルト云フ位、密接ナル鹽トノ連絡關係ガアルノデアリマス、ソコデ政府ノ御答辯ハ、曹達灰工業者ニ對シマシテ、殆ド專賣制度ヲ考慮外ニシテ居ル、彼等ノ自由輸入ニ任シテ居ル、世界何レヨリ買入ル、モ自由デアアル、而モ唯、單ナ形式ニ於テハ一巨專賣局ニ買入レタ形式ニハスルケレドモ、直ニソレト同様ノ價額ヲ以テ其當人ニ賣下ヲ致スガ故ニ、專賣局ハ唯、帳簿上附替ヲスルニ止マル、營業者ニ對シテハ何等不便ヲ與ヘテ居ラヌ、斯様ノ御聲明デアッタノデゴザイマス、其第一點ハ我國ノ鹽價ヲ低落セシメ、國民ノ負擔ヲ輕減サレハ如何デアラウカト云フ質問デアリマス、現在我國ノ鹽ノ價額ハ世界各國ニ標準ヲ致シマスト、米國ハ「ソルト・トレイ・キ」ト云フヤウナ天恵ヲ持テ居リマス、英國ハ「チャイヤ」ニ鹽トナルト云フ天恵ヲ持テ居リマス、獨逸ハ「シレシヤ」ニ岩鹽ノ鑛山ヲ持テ居リマス、殆ド石炭ヲ掘ルト同様ニ岩鹽ガ出ル、何レノ國モ其販賣價額ハ日本ノ約十分ノ二位デアアルノデアリマス、即チ日本ニ於テハ百斤約二圓六十錢位ノ標準デアリマシタガ、是等ノ各國ニ於テハ五六十錢位ノ範圍デ國民ニ供給シテ居ルノデアリマス、故ニ專賣局ノ方針ガ現在ノ通りデアリマス故ニ、國民ノ負擔致シマスルモノガ、專賣局ノ總賣上ガ約四千五百萬圓アルノデアリマス、之ニ對シマシテ若シ世界のニ此政策ヲ解放致シマシテ、世界ノ鹽ノ產地ヨリ安キ鹽ヲ自由ニ國民ニ供給致シマスルナラバ、

優ニ國民ノ負擔ハ一千五百萬圓ヲ以テ足ルデアラウト思フ、其差額三千萬圓ハ、無形ノ形式ニ於テ國民ガ負擔シテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ政府ノ御答辯ヲ伺ヒマシタ所ガ、現在ノ鹽田ヲ直ニ廢棄シテシマフテ、面シテ一億圓ノ價值ヲ有スル鹽田ヲ消滅セシムルト云フコトハ、政府ノ方針トシテハドウ云フモノデアラウカ、是モ考ヘナケレバナラヌ、併ナガラ大正八年ニ於テ臨時財政經濟調査會ノアリマシタ時ニ、其調査會ニ鹽ノ自由供給ニ關スル根本方策如何ト云フコトヲ諮問ニナリマシタ、其調査會ニ於テ頗ル慎重ニ審議サレマシタ、先ヅ現在ノ方針ヲ以テ進ムナレドモ、漸次外國ヨリ、或ハ其他ノ日本ノ領地ヨリ之ヲ取入レテ緩和スルコトモ亦一ツノ方法トシテ考慮シナケレバナラヌ、即チ現在ノ鹽ハ増サナイケレドモ、多ク必要ニ應ジテ世界ヨリ安イ鹽ヲ持テ來ル、斯様ナ事デゴザイマシタ、好イ加減ニシロ、簡單々々「ヤレイ」ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス ○堤清六君(續) 委員長ノ義務ナリト信ジテ居ル者デゴザイマス(簡單々々)ト呼フ者アリ)モウ止メマス、之ヲ要スルニ本案ノ當否ヲ決シマスル諸材料ハ澤山ニ集中サレテアルノデアリマスケレドモ、之ヲ申シマスト又御叱リヲ蒙リマスカラ、委員會ニ於ケル速記録ニ依テドウカ御承知ヲ願ヒタイ、ソコデ本案ヲ決シマスル必要ナル數字ヲ簡單ニ報告致シマシテ、此案ノ報告ヲ終ル積リデアリマス、其食本金ヲ増スト云フコトニ付テハ、專賣局ノ總賣上高ヲ申シマス、現行法ノ最初ニ於キマシテハ總賣上ガ一億二千六百三十九萬五千圓ニナッテ居リマス、而シテ其年度ノ利益金ガ一億一千八百八十九萬六千圓ニ相成テ居リマス、斯様ナ數字ガ即チ現行法ヲ制定サレマシタ大正九年度ノ數字デアリマス、ソレカラ大正十五年度、即チ本年度ノ計算ハ如何デアラカト申シマス、其賣上金ガ三億九百九十九萬九千圓ニ相成テ居リマス、而シテ利益金ガ一億五千二百二十萬三千圓ト相成テ居

大正十五年三月八日

東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案委員長

大津淳一郎

衆議院議長柏谷義三殿

〔大津淳一郎君登壇〕

○大津淳一郎君 東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、此案ノ審查特別委員會ノ結果並ニ經過ヲ御報告申上ダマス、此案ハ鐵道敷設法中改正法律案ノ審查特別委員會ニ併セ付託セラレタゴザイマシテ、其審查先ニ付託セラレタ案ノ審查、並ニ速記ノ都合ニ依リテ大分延引ヲ致シタノデアリマス、去ル五日ニ第一回ノ審查委員會ヲ開イテ、委員數人ヨリ政府ニ向テ質問應答ヲ細大漏サズアツタノデアリマス、ソレハ財政、經濟、産業發達等各種ノ質問デアリマシタガ、早ク既ニ速記録ガ諸君ノ手ニアリマスカラ、別段其趣意ハ申上ダマセヌ、ソレカラ翌々八日ニ討論ニ入りマシテ、政府ノ説明ヲ是ナルモノト信ジテ委員一致決セラレマシタ、此段御報告申シマス〔拍手〕

○副議長〔小泉又次郎君〕 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長〔小泉又次郎君〕 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○作間耕逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長〔小泉又次郎君〕 作間君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

明治三十八年法律第十七號中改正法律案專賣局設置運轉資本補足ニ關スル件

第二讀會〔確定議〕

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長〔小泉又次郎君〕 第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定致シマシタ〔拍手〕

○日程第二十八、東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス――委員長大津淳一郎君

第二十八 東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案〔政府提出〕

報告書 第一讀會ノ續〔委員長報告〕

一 東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案〔政府提出〕

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

〔拍手〕――日程第二十九、商事調停法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス――委員長高木益太郎君

第二十九 商事調停法案〔政府提出〕

報告書 第一讀會ノ續〔委員長報告〕

一 商事調停法案〔政府提出〕

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月九日

商事調停法案委員長 高木益太郎

衆議院議長柏谷義三殿 高木益太郎

希望決議

○高木益太郎君 本案ハ委員會ヲ開キマシテ、一般國民ハ勿論、商業社會ニ於テ頗ル歡迎スル案ト認メマシテ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、但シ委員岡本實太郎君ヨリ希望決議ノ提出ガアリマス、之ヲ讀ミマス

〔希望決議〕 商事取引ハ全國ノモノニシテ交通通信ノ發達ト共ニ漸次頻繁ナラムトスルモノナレハ政府ハ商事調停法ノ實施ニ鑑ミ成ルヘク速ニ之ヲ全國ノニ適用スヘキ法規トセラレムコトヲ望ム

○副議長〔小泉又次郎君〕 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長〔小泉又次郎君〕 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○作間耕逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、即チ原案ヲ可決セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○副議長〔小泉又次郎君〕 作間君ノ動議ニ

御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

商事調停法案 第二讀會〔確定議〕

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長〔小泉又次郎君〕 第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ〔拍手〕

○日程第三十及第三十一 同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長〔小泉又次郎君〕 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第三十、大正十二年勅令第四百五號廢止法律案、日程第三十一、大正十四年法律第三十五號中改正法律案ヲ一括シ、其第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス――委員長櫻内幸雄君

第三十 大正十二年勅令第四百五號廢止法律案〔暴力取締令廢止ノ件〕〔政府提出、貴族院送付〕

第一讀會ノ續〔委員長報告〕

報告書

一 大正十二年勅令第四百五號廢止法律案〔暴力取締令廢止ノ件〕〔政府提出、貴族院送付〕

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十日

大正十二年勅令第四百五號廢止法律案委員長 櫻内 幸雄

衆議院議長柏谷義三殿

第三十一 大正十四年法律第三十五號中改正法律案〔日本銀行ノ手形割引ニ因ル損失ノ補償ニ關スル件〕〔政府提出〕

報告書 第一讀會ノ續〔委員長報告〕

一 大正十四年法律第三十五號中改正法律案〔日本銀行ノ手形割引ニ因ル損失ノ補償ニ關スル件〕〔政府提出〕

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十日

大正十四年法律第三十五號
改正法律案委員長

櫻内 幸雄

衆議院議長粕谷義三殿

〔櫻内幸雄君登壇〕

○櫻内幸雄君 只今上程サレマシタル兩案ニ付、委員會ノ結果ヲ御報告申上デマス、大正十二年勅令第四百五號廢止法律案ハ、震災當時發布セラレタル生活必需品利取締ノ緊急勅令ハ最早必要ナシトノ意味ヲ以テ廢止案ヲ提案セラレタノデアリマシテ、

本案ニ付テハ委員會ヲ二回開會致シマシテ、何等ノ異議ナク滿場一致ヲ以テ本案ヲ可決致シタ次第デアリマス、次ニ大正十四年法律第三十五號中改正法律案ハ、大正十二年勅令第四百五號第一項第四號ニ該當スル手形、即チ震災手形ノ割引ニ付、日本銀行ガ被ル損失補償ニ關スル期限、大正十五年九月三十日ヲ大正十六年九月三十日マデ延期スルト云フ案デアリマスガ、是亦委員會ヲ二回開會マシテ、滿場一致ヲ以テ此原案ヲ可決シタ次第デアリマス、此段御報告申上デマス〔拍手〕

○副議長〔小泉又次郎君〕 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長〔小泉又次郎君〕 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○作間耕逸君 兩案ヲ一括シテ直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ何レモ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長〔小泉又次郎君〕 作間君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長〔小泉又次郎君〕 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

大正十二年勅令第四百五號廢止法律案

〔暴利取締令廢止ノ件〕

第二讀會〔確定議〕

大正十四年法律第三十五號中改正法律案〔日本銀行ノ手形割引ニ因ル損失ノ補償ニ關スル件〕 第二讀會〔確定議〕

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長〔小泉又次郎君〕 第三讀會ヲ省略シテ、兩案共委員長報告通り可決確定致シマシタ〔拍手〕日程第三十二、輸出生絲検査法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス――委員長折原巳一郎君

第三十二 輸出生絲検査法案〔政府提出〕

報告書

一輸出生絲検査法案〔政府提出〕
右本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十日

衆議院議長粕谷義三殿

希望條件

一 輸出生絲検査法ノ施行ヲ大正十六年一月一日以後ニ於テスルコト

理由

最近生絲輸出業者側ノ決議ニ依リ製絲業者側ニ對シ生絲取引ニ關スル數箇ノ要求ヲ爲シタルコトハ世間周知ノ事實ナリ右ハ製絲業者側ニ取リテ頗ル重大ナル關係ヲ有シ惹テ生絲取引ノ圓滑ト輸出貿易ノ消長ニ多大ナル影響ヲ加フル結果本法施行ノ成果ヲ減殺スル虞アルノミナラス養蠶業者ニ及ボス影響至大ナルモノアリト信ス從テ此ノ問題ハ本法施行以前ニ於テ圓滿且自由ナル解決ヲ了セシムル必要アリト認ム依テ政府ハ是等ノ關係ヲ充分考慮シ本法ノ施行ヲ大正十六年一月一日以後ニ於テセラルムコトヲ望ム

二 製絲業者ノ製絲資金ヲ圓滑潤澤ナラシムル途ヲ講スルコト

理由

製絲業者カ輸出業者ニ制肘セラルル重ナル點ハ資金問題ニ在リト信ス製絲業

者ノ資金運用ノ奈何ハ直ニ養蠶業者ニ至大ノ影響アルヲ以テ政府ハ將來一層製絲資金ノ圓滑潤澤ヲ得セシムルノ途ヲ講シ充分ナル注意ト努力ト拂ハレムコトヲ望ム

〔折原巳一郎君登壇〕

○折原巳一郎君 只今議題ニナリマシタ輸出生絲検査法案ニ對スル委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上デマス、本案ノ内容ハ第一ニ輸出生絲ノ取引ハ正量ヲ以テスルト云フコト、第二ニ正量検査ハ之ヲ強制施行スルト云フコト、第三ニハ検査ニハ手数料ヲ徵收スルト云フコト、第四ニハ國立検査所ノ外公團體設置ノ生絲検査所ヲ認ムルト云フ、大體四點デアアルデアリマス、其條文ハ極メテ少ナク、八箇條ニ過ギナカッタノデアリマスガ、内容ハ極メテ重大ナルガ爲ニ、小委員會マデテモ設ケテ十分慎重ナル質疑應答ヲ盡シタ次第デアリマス、委員會ノ詳細ハ之ヲ委員會ノ速記録ニ譲リマシテ、極メテ簡單ニ會議ニ現ハレマシタル重要ナル二、三點ヲ御紹介申上ゲタイト思ヒマス、其第一ハ手数料ニ關スル法律論デアリマス、所謂本法ノ検査ハ強制施行テハ絕對ノモノデアラテ、輸出生絲ニ取テハ絕對ノモノデアラテ、隨テ此手数料ヲ云フモノハ之ヲ租税ト看做スベキ程ノモノデアラテ、隨テ假ニ此手数料ヲ取ルコトガ正當デアルトシテモ、是ハ必然ノ法律ヲ以テ規定スベキモノデアラテ、全然之ヲ命令ノ規定ニ讓ルト云フコトハ其當ヲ得テ居ラナイ、斯ウ云フ議論ガアルデアリマス、之ニ對シテ政府ハ、検査手数料ト云フモノハ、検査ヲ受ケル者ノ利益ノ爲ニスル政府ノ行為ニ對スルモノデアラテ、一種ノ報償デアアル、隨テ之ヲ強制スルト否トハ、此報償ト云フコトノ性質ニハ何等關係ガナイ、隨テ之ヲ憲法第六十二條第二項ノ規定ニ基イテ命令ヲ以テ定ムルト云フ事柄ハ合法ノ處置デアアル、政府ハ此種ノ問題ニ對シテハ、從來常ニ斯ノ如キ解釋ヲ執リ、又其類似ノ實例モアル、斯ウ云フ辯明デアリマス、第二點ハ正量取引ヲ行フノ今日適當ノ時機デアルカ否

カ、所謂本法ヲ施行スルノニ、今日ヲ以テ時ヲ得テ居ルカ否カト云フ點デアリマス、ソレハ正量検査ノ結果ハ、現在トシテハ内地ニ止テ、之ニ依リテ海外ヲ拘束スルコトニハナクテ居ラナイノデアリマス、然ラバ其效果ト云フモノハ極メテ微弱デハナイカト云フ點ト、此取引ヲ行フニ付キマシテ、輸出業者ト生絲業者トノ間ニハ利害ノ相反スルモノガアリマシテ、其間ノ協調ヲ失ハントシツ、アルノガ今日ノ實況デアアルデアリマス、故ニ是等ノ諸點ガ完全ニ解決スルマデハ、本法ノ施行ヲ見合ス方ガ宜シクナイカト云フ二ツノ質問ガアッタノデアリマス、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、今日直ニ海外ニ對シテマデ正量検査ノ效果ヲ及ボスコトノ出來ナイト云フコトハ甚ダ遺憾デアリテ、併ナガラ政府ハ出來得ベキダケ速ニ努力シテ其實現ヲ期スル、斯ウ云フ答ト、モウ一ツハ輸出業者、生絲業者トノ間ニ問題ノアルコトハ、政府トシテモ其憂ヲ共ニスルモノデアアル、併ナガラ本法實施ノ時期マデニハ、必ズ圓滿ナル解決ヲ見ル確信ヲ有シテ居ル、斯ウ云フ答辯デアアルデアリマス、第三點ハ手数料ノ徵收ト云フ點デアアルデアリマス、從來ノ検査ハ任意ニシテ無手数料デアラタ、即チ任意検査ノ時代ニ於テスラ手数料ヲ徵收シナカッタモノヲ、今回ハ強制シテ検査ヲ行フ、即チ輸出検査ニ取テハ絕對ノモノデアアル、然ルニモ拘ラズ之ニ對シテ手数料ヲ徵收スルト云フコトハ宜シクナイ、殊ニ負擔ノ上ニ於テモ常業者ニ對シテ相當ナル重荷ヲ掛ケルコト云フコトデアラカシテ、手数料ハ徵收シナイト云フコトニシタイ、但シ其結果トシテ公共團體經營シテ居ル検査所、即チ現在トシテハ神戸ニ於ケル検査所ガ手数料ヲ徵收シナイト云フコトニナレバ、其維持經營ノ上ニ於テ困難ヲ來スカラ、之ニ對スル經費ハ之ヲ國庫ノ支辨ト爲スベシ、斯ウ云フノガ手数料ニ對スル意見デアリマシタ、之ニ對スル政府ノ辯明ハ大體三點ニ分レテ居リマス、其第一點ハ検査ノ結果ト云フモノハ市價ヲ高メルカラ、受檢者ノ利益トナルノ

デアル、故ニ、受益者ガ之ニ要スル費用ヲ負擔スルト云フコトガ、寧ロ公平ノ處置デアツテ、一部分ノ者ノ利益ニ要スル費用ヲ、國家ノ費用全體ヲ以テ負擔スルト云フコトハ、寧ロ當ヲ得テ居ナイ、斯ウ云フ一點、從來ノ検査ハ保護獎勵ノ時代デアツタ、故ニ無手数料デ成ベク検査ヲ受ケシメルト云フ方針デアツタノデアリマス、最モ、最早當業者ニ於テ十二分ノ進歩ト、又鞏固ナル基礎ヲ有シテ居ル今日ニ於テハ、格別多額ニモ要セザル手数料ヲ徵收スルト云フコトハ、寧ロ然ルベキ事デアアル、是ガ二點、第三點ハ蠶絲業上ニ付テハ今後尙ホ全般ニ互ニ國家トシテ經營スベキ事業ガ非常ニ多イ、唯、經費ノ關係上其實現ヲ見ナイノヲ遺憾トシテ居ルノデアアル、然ルニ本検査ノ如ク一部當業者ヲ利スル費用マデモ全體ノ國費ヲ以テ支辨スルト云フコトニナレバ、色々他ノ事業ノ施設ヲ促進スルコトノ障礙トナル、之ヲ反對ニ言換ヘレバ、一部業者ノ利益ニシテ費用ト云フモノハ、其當業者ノ負擔ヲ以テ支辨スル、サウスレバ其處ニ消極的ニハ國費ノ上ニ餘力ヲ生ズルカラ、一般的ニ事業ノ施設ヲ促進スル強イ動機トモナルト云フ點デアリマス、是等ノ論議ノ後ニ、委員ノ中カラ二ツノ希望ヲ提出致サレタノデアリマス、其希望ノ第一ハ「最近生絲輸出業者ヨリ製絲業者ニ對シ生絲取引ニ關スル數個ノ要求ヲ提出シテ居ル、是ハ製絲業者ニ取リテハ頗ル重大ナル關係ヲ有シ、延イテ生絲取引ノ圓滿、輸出貿易ノ消長ニモ多大ノ打撃ヲ加ヘ、本法施行ノ成果ヲモ減殺スルノ虞ガアル、此事柄ハ延イテ養蠶業者ニモ亦同様ノ影響ヲ及ボスモノト信ズ、從テ此問題ハ本法施行前ニ於テ圓滿且自由ナル解決ヲ了セシムル必要ガアルカラ、政府ハ是等ノ關係ヲ十分ニ考慮シテ、本法ノ施行ヲ大正十六年一月一日以後ニ於テセラレタイト云フノガ一箇條、第二箇條ハ製絲業者ガ輸出業者ニ對シテラレル重ナル點ハ資金ノ問題デアツテ、製絲業者ノ資金運用ノ如何ハ又直ニ養蠶業者ニ至大ナル影響ヲ有ス、依テ政府ハ將來一層製

絲資金ノ圓滑潤澤ヲ得セシムルノ途ヲ講ジ、十分ナル注意ト努力ヲ拂ハレタシ」此二點ニ對シマシテハ、第一點ニ付テハ政府ハ大體ニ於テ其發同ジウスルモノデアアルカラ、其施行時期ニ付テハ希望ニ副フベク十分ノ考慮ヲ致シタイ、斯ウ云フ聲明デアリマス、第二點ニ付テモ亦出來ルダケ希望ニ副フベク十分ノ考慮ヲ拂ヒタイト思フ、斯ウ云フ答辯デアリマス、兩者トモ之ヲ肯定スル意味ニ於テ聲明セラレテ居ルノデアリマス、以上ノ經過ノ結果、委員會ハ多數ヲ以テ本案ヲ可決致シタノデアリマス、但シ本案ニ對シテハ修正意見ガアリマシテ、ソレハ少數意見トシテ別ニ委員ノ中カラ本會ヘ提出セラレテ居リマス、以上御報告致シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 本案ニ對シテハ少數意見ガ出テ居リマス、是ハ修正デアリマス、第二讀會ニ於テ其報告ヲ許スコトニ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○作間耕逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

輸出生絲檢查法案 第二讀會

○副議長(小泉又次郎君) 此際少數意見ノ報告ヲ求メ、岡田豐吉君ノ辯明ヲ求メマス

少數意見見書

一輸出生絲檢查法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト認ムルニ依リ少數意見見書及提出候也

大正十五年三月十日

輸出生絲檢查法案

委員少數意見者 志賀和多利 外十名

輸出生絲檢查法案中左ノ通修正ス

第一條第三項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ検査ヲ徵セス

同條第二項中「検査ヲ爲サシムルコトヲ得」ノ下ニ「此ノ場合ハ検査ニ要スル經費ハ之ヲ國庫ヨリ交付ス」ヲ加フ

附則第一項ヲ左ノ如ク改ム

本法ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔岡田豐吉君登壇〕

○岡田豐吉君 只今二讀會ニ移サレマシタ本案ニ付テハ、曩ニ委員會ニ於テ吾々政友會並ニ新正俱樂部ノ委員ヨリ、此検査ノ手数料ヲ徵收セナイ、而シテソレニ關係スル法文ニ付テハ修正ヲ提出致シタノデアリマス、然ルニ遺憾ナガラソレハ少數ヲ以テ成立致サナカッタノデアリマス、是ニ於テ吾々多數意見者ノ代表ト致シマス、出來得ルダケ簡單ニ其趣旨ヲ辯明致シタイト存ズルノデアリマス、折原委員長ヨリ報告セラレマシタル其中ニ、政府ノ本案ニ對スル趣旨並ニ手数料ノ點ニ關シテ政府ノ意見ノ在ル所ヲ紹介セラレマシタ、ソレニ依リマスト云フト此輸出生絲檢查法案ニ依リテ正量検査ヲ實行スルト云フコトニ相成レバ、其利益ヲ得ル者ハ當業者デアアル、故ニ從來ハ検査ノ手数料ヲ徵シテ居ラナイノデアアルガ、今回ハ之ヲ強制シテ絕對的ノモノト爲スガ故ニ、検査ノ手数料ヲ徵收シテモ、其利益ト比較致スト云フト、僅少ナル手数料ヲ徵シテモ何等當業者ノ苦痛ニ相成ラス、斯様ニ申サレテ居ルノデアリマス、然ルニ委員會ニ於キマシテ色々審議致シテ居ル中ニ、國ラズ吾々ノ意見ト政府當局ノ意見ト、此正量検査ヲ實施スルニ當テ大ナル意見ノ相違ヲ見マシタ次第デアリマス、ソレハドウ云フ譯デアアルカト申シマス、今日政府ガ實行セラレントスル所ノ正量検査ノ方法ト云フモノハ、吾々當業者、輸出業者ニセヨ、製絲業者ニセヨ、當業

者ノ期待シテ居ル所ノ方法ト大ナル相違ガアルノデアリマス、其相違致シテ居ル點ハ、申ス迄モナク當業者ノ期待致シテ居タ所ハ、此正量検査ヲ内地ニ實施致シマス同時ニ、海外ニ其效力ヲ及ボス、海外ノ取引モ拘束スルト云フコトデアツタノデアリマス、然ルニソレハ當業者ノ期待ガ大ニ裏切ラレマシテ、唯、内地ニ實施スルノミデアツテ、當分ノ内ハ海外ニ及ボサナイ、而モソレハ内地ニ實施シマシテモ、其商品ニ對シテハ検査所ノ封印ヲ附ケナイ、封印ハ任意デアアル、斯様ナ次第デアリマス、是ニ於テ政府ハ此正量検査、正量取引ヲ實施スルト云フコトニナレバ、當業者ハ水分上ニ於ケル所ノ莫大ナル利益ヲ得ル、假ニ之ヲ計數ニシテ見マスと云フト、約一千万圓ノ利益ヲ得ル、斯様ニ申サレルノデアリマス、實際ニ於テノ當業者ノ意見ヲ徵シテ見マスと云フト、ソレハ反對ノ結果ニ相成ルノデアリマス、即チ内地ニノミ實施シテ海外ニ及ボサヌト云フコトニナルト、水分ノ低減ニ依ル所ノ斤量ノ減少ニ對スル所ノ利益ト云フモノハ、悉ク是ハ輸出業者ノ利益ニナリマシテ、製絲業者ハ利益ニナラナイ、斯様ナ計算ニ相成ルノデアリマス、ソコニ於テ憲政會ノ確ニ村上君デアツタト記憶致シテ居リマスガ、左様ナ意見デアアルトスナラバ、君等ノ意見ハ此正量取引ニ反對ニナラノデアリナイカト言ハレタ、吾々ハ政府ガ今回計畫シタ如キ正量取引ヲ長ク實施スルト云フコトニナレバ、無論絕對反對デアリマス、併ナガラ漸次之ヲ海外ニ及ボスト云フトニ致シマスレバ、其準備期間ハ當業者トシテ多少ノ犧牲ヲ拂ヒテモ宜イト云フ意味ニ於テ、已ムヲ得ズ之ニ同意スル者デアリマス、而シテ其準備期間ニ於ケル利益ト云フコトハ——政府ト致シマシテハ當業者ノ利益デアアルト云フガ、當業者ト致シマシテハ反對ノ結果ニ相成ルモノデアリマシテ、寧ロ八百萬圓以上ノ損失ト相成ルノデアリマス、左様ナ次第デアリマス、故ニ、當業者ハ免ニ角準備期間ガ損失ト云フコトニナルノデアリマス、損失ノアル

——即チ大ナル犧牲ヲ拂フテ居ル者ニ手數料ヲ徴收スルト云フコトハ不條理デアル、是ハ政府ノ意見ト吾々修正論者ノ意見ト根本ニ於テ相違致シテ居ル所ノ第一點デアリマス、ソレカラ第二點ト致シマシテハ、些末ノ點デアリマスガ、政府當局ノ意見ハ此検査ノ手數料ト云フモノハ極メテ僅少ナ金デアル、之ヲ原價ト比較シテモ極メテ少額ノモノデアル、斯様ニ申サレバノデアリマスケレドモ、段々研究ヲ致シテ居リマス内ニ、其金額ハ決シテ少額デナイト云フコトヲ發見致シタノデアリマス、之ヲ詳シク申述ベマスト長キ時間ヲ要シマス、是ハ委員會ニ於テ相當論議セラレテアル問題デアリマスガ故ニ、委員會ノ速記録ニ讀ム次第デアリマス、ソレカラ第三ノ點ト致シマシテハ、政府ノ今回検査ヲ強制シテ手數料ヲ徴收スルコトニナリマシタ理由ノ一ツトシテ、從來生絲貿易ノ商取引ニ於テ行ハレテ居リマシタ所ノ習慣ノ中ニ、荷掛金ト致シテ相當ナル金ヲ製絲家ガ拂フテ居ルノデアアル、即チ一俵ニ付テ約九十錢ノ金ヲ拂フテ居ルノデアアル、故ニ此検査ノ手數料ハ結局製絲家ノ負擔トナルト致シマシテモ、從來ノ荷掛金ヲ廢スルコトニナルノデアアルカラ、ソレト相殺スレバ決シテ苦痛トナラナイ、製絲家ノ負擔トナラナイ、斯様ニ申サレバノデアアリマス、所デ此荷掛金ト申シマスノハ、生絲貿易ノ上ニ於テ看料ナルモノハ横濱ニ於テ生絲貿易ガ開始サレマシテカラ以來ノ、數十年ニ亘リテノ因襲ヲ成シテ居ルモノデアリマス、吾々モ常ニ其不合理不條理ナルヲ認メテ居ル者デアリマスガ、永キ商習慣ヲ有スル所ノ此看料ハ、果シテ政府當局ノ意見ノ如ク、今回ノ正量検査ノ實施ニ依ッテ廢止ニナルカ否カ、是ハ大ナル疑問ト致サナケレバナラヌデアリマス、ソレカラ更ニ第四ノ點ト致シマシテ、政府當局ハ此検査手數料ヲ徴收スルト云フコトニ付テハ、ソレト相當業者ノ了解ガアッタノデアアル、斯様ニ申サレテ居ルノデアリマスガ、是モ色々此法案ニ對シテ審議應答ヲ致

シテ居ル中ニ、決シテ左様ナ了解ガ業者ノ間ニ成立シテ居ラナカッタト云フコトガ明瞭ニ相成タノデアリマス、更ニ最後ニ、極メテ本案ニ對シテ重大ナル問題トシテ、是非諸君ノ御清聴ヲ煩ハサナケレバナラヌ問題ガ殘リテ居ルノデアアル、ソレハ何デアカト申シマスルニ、政府ノ蠶絲業ニ對スル根本政策ニ觸ル、問題デアリマス、今委員長モ報告セラレマシタル如ク、政府ハ從來蠶絲業ハ相當幼稚ノ時代デアッタ、故ニ保護獎勵ヲ加ヘテ居ッタ、検査ノ手數料ノ如キモ任意検査デアッタガ故ニ、徴收ヲ致シテ居ラナシタ、併ナガラ既ニソレハ相當發達ヲ致シテ居ル、基礎モ鞏固ニナリタ居ル、他ニ色々ノ事業デ相當保護ヲシ、獎勵ヲ加ヘナケレバナラヌ事業モ存シテ居ルモノデアアルカラ、此検査ニ要スル所ノ費用ハ、手數料ヲ徴收シテヤラナケレバ、到底實行スルコトガ出来ナイ、斯様ニ申サレテ居ルノデアアリマスルガ、此點ニ付キマシテハ、私共ハ絕對ニ政府ト所見ヲ異ニ致シテ居ル者デアリマス、其理由ハ御承知ノ通り、此我ガ蠶絲業ハ政府ノ御意見ノ如ク、成程幼稚ノ時期ヲ脱シテ居リマス、人間ニ譬ヘレバ既ニ幼年時代ヲ過ギテ青年時代ニナリタ居ル、併ナガラ其青年ノ時代ニハ相成シテ居リマスガ、ソレハ病人デアリマス、而モ大病人ニナリタ居ルノデアリマス、諸君、近來我ガ内地ニ於テノ勞銀ノ昂騰、物價ガ騰貴シテ今日安クナラナイコト、斯様ナモノカ此蠶絲業ニ對シテ非常ナ脅威ヲ與ヘテ居ル、政府ハ本員ノ蠶絲業ノ根本政策ニ對シテノ答辯ノ中ニ、良品廉賣主義、良品ヲ造リテ廉價賣ル、斯様ニ言ハレテ居ルノデアアリマスルガ、依如何ニ之ヲ改良シ、如何ニ生産費ヲ安クスルカト云フコトニ付テハ何等觸レテ居ラナイ、觸レテ居ラナイノミナラズ、左様ニモウ既ニ青年ノ域ニ對シテ居ルノデアアルカラ、何等保護獎勵ヲ加フル必要ハナイト申サレバノデアリマスルガ、吾々ハ左様デハナイ、内ニ勞銀ノ騰貴、外ニハ人造絹絲ノ需要ガ盛デアッテ、政府當局トシマシテハ、人造絹絲ハ唯、綿織

物ナリ、毛織物ノ需要ノ領分ヲ侵スノミデアルト云ヒマスケレドモ、決シテ左様デハナイ、大ニ我ガ蠶絲業ノ領分モ侵シテ居ルモノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスガ故ニ、決シテ今日ノ蠶絲業ト云フモノハ、何等保護獎勵ヲ加ヘズシテ、其儘抛リテ置クト云フコトハ出来ナイノデアリマス、諸君、現内閣ノ諸公ハ常ニ此壇上ニ於テ、我ガ國力ノ充實ハ貿易ノ振興デアアル、貿易ノ振興ハ輸出ノ獎勵デアアルト云フコトヲ屢、絶叫セラレテ居ルノデアアル、本員モ亦同様に意見ヲ持ッテ居ル者デアアル、併ナガラ輸出ノ獎勵ニ於テ、輸出貿易品ノ大宗タル、即チ大正十四年ノ統計ヲ見マシテモ、輸出總額二十五億有餘萬圓ノ中ニ於テ、其四割以上、即チ八億八千萬圓ノ巨額ヲ算スル所ノ此生絲貿易ヲ開却シテ、何ノ輸出獎勵ガアリマセウ、政府ハ此蠶絲業ハ既ニ發達シテ居ル、基礎ガ鞏固ニナリタ居ルト云フガ、今日全國ノ製絲家ノ悲慘ナル狀況ヲ一度見マシタナラバ、左様ナル冷酷ナル批評ガ果シテ眞實ノ政府ノ意見トシテ御說明ニナレマセウカ、私ハ其點ニ付テ政府ノ無責任、政府ノ詭辯ニ驚カザルヲ得ナイノデアリマス、斯様ナ意義ニ於テ、吾々ハ此蠶絲業ヲ保護獎勵スル意味ニ於テ、當分ノ間検査料ヲ徴セザルコト、即チ現行法ノ通り検査料ヲ徴セズト云フコトニ修正ヲ致シタ次第デアリマス、而シテ其第一條ノ第一項ニ「検査料ヲ徴セス」ト修正ヲ致シマシタ結果、第二項ノ末ニ「此場合ハ検査ニ要スル經費ハ之ヲ國庫ヨリ交付ス」斯様ニ修正文字ヲ加ヘマシタガ、是ハ御承知ノ通り、國ノ生絲検査所ハ横濱ニ新築セラレタモノデアリマスルガ、此法文ニアリマスル所ノ公共團體ノ設ケル生絲検査所、即チ神戸ニ對シマシテハ、検査料ヲ徴セナイト云フト、其經費ノ支出ニ困リマスガ故ニ、斯ノ如ク修正致シマシタ次第デアリマス、而シテ此附則ニ於テ、政府ノ原案ハ「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスルノヲ「本法ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス」斯様ニ修正致シマシタルコトハ、委員會ニ於テ本

黨ノ丹下君ヨリ希望條件トシテ提案セラレタル其第一點ニ於キマシテ、即チ本法ノ實施ヲ成ベク業者ノ紛擾ヲ解決スル間ハ實施セナイト云フコトノ意味ノ下ニ、成ベク大正十六年一月以後ニ實施ヲシテ欲シト云フ意味ノ希望條件デアッタノデアリマス、ソレニ對シマシテ政府ハ殆ド同意セラレテ居ルノデアリマス、此希望條件ニ準據致シマシテ、本員ハ此附則ヲ「本法ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト修正スル次第デアリマス、以上ノ理由デアリマシテ、何卒吾々ノ修正案ニ對シマシテ、諸君ノ御賛成ヲ冀フ次第デアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 隅田君ノ少數意見ニ御賛成ガアリマスカ

〔賛成(賛成)ト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 成規ノ賛成アリト認メマス、仍チ少數意見ハ修正案トシテ成立致シマシタ、是ヨリ討論ニ移リマス——

丹下茂十郎君

〔丹下茂十郎君登壇〕

○丹下茂十郎君 諸君、只今上程ニナリタ居リマスル輸出生絲検査法案ニ付キマシテ、委員長ヨリ報告セラレマシタ、即チ二個ノ希望條件、其一ハ本法ノ施行ヲ大正十六年一月一日以後ニ於テ爲スコト、二、製絲業者ノ製絲資金ヲ圓滑潤澤ナラシムル途ヲ講ズルコト、以上ノ二個ノ附帶條件ニ對シマシテ、早速農林大臣ヨリ一ニ付テハ御希望ニ副フベク十分ナル考慮ヲ致シマス、二ニ付キマシテハ出來得ルダケ此點ニ付テ十分ナル考慮ヲ拂ヒタイ、斯様ニ責任アル聲明ヲ得タノデアリマスガ故ニ、私ハ此聲明ニ信頼致シマシテ原案ニ賛成スル者デアリマス、聊カ此原案ニ賛成致シマス理由ヲ、簡單ニ申述ベタイト思フノデアリマス、本案ガ蠶絲業ニ提出致サレマシタ以來、世上中ノ物議ヲ生ジタノデアリマス、本員乏チ此特別委員ニ舉ゲラレマシテ、本法ヲ審議スルニ當リマシテ、聊カ了解ニ苦シシタ點ガ二個アッタノデアリマス、本法ノ内容ハ先程委員長ヨリ報告ニナリマシタ通り、先ツ第一ニ輸出生絲ノ取引ハ正量ヲ以

テスルト云フコト、第二ニハ正量検査ヲ厲行スルト云フコト、第三ニハ正量検査ノ手數料ヲ徵スルト云フコト、第四ニ公共團體ノ經營ニ係ル所ノ検査所ヲ認メルト云フコト、此四點ガ重要ナル部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、而シテ此四點ノ問題ニ對シマシテハ、第一第二第四ニ付キマシテハ、最早議論ノ餘地ハナイト思フノデアリマス、唯、第三デアリマス所ノ手數料ヲ徵收スルト云フコトノ可否、是ガ重大ナル關係ヲ持テ居ルノデアリマス、私ノ聊カ了解ニ苦シム、之ガ第一點デアリマス、即チ本法ヲ提出サレマシテ世間ニ物議ヲ生ジマシタト云フコトハ、要スルニ手數料強制徵收問題ヲ中心ト致シテ居タルノデアリマス、即チ輸出業者ト製絲業者トノ間ニ於キマシテ、其取引上ニ關係シマシテ、重大ナル紛議ヲ生ジタルノデアリマス、此紛議ガ容易ニ解決ヲ告ゲナイノデアリマス、此時ニ方リマシテ本法ヲ施行致シマシテモ、果シテ満足ニ法ノ成果ヲ收メルヤ否ヤト云フコトガ即チ私ノ了解ニ苦シム第二點デアリノデアリマス、輸出業者ト製絲業者トノ間ニ蟬レバ、本法ノ施行ニ際シマシテ所謂買入ノ側、即チ輸出業者ヨリ製絲業者ニ對シテ數箇條ノ要求ヲ提案致シタルノデアリマス、其結果兩者ノ間ニ協定ガ容易ニ解決ヲ致サナイ、之ガ洵ニ重大ナル關係ヲ持テ居リマスガ故ニ、私ハ此要求ノ條件ノ大要ヲ申述ベテ見タイト思フノデアリマス、先ヅ第一ニ正量取引實施ノ爲ニ生ズル所ノ検査手數料、運搬費、運送及ビ検査中ノ保險料、其他總テノ費用並ニ危險ハ、賣入側即チ製絲業者ノ負擔ニシテ與レヨト云フ、第二ニ荷物ノ引渡ハ買入ニ於テ正量検査ヲ受ケタル荷物並ニ検査票ヲ人手シテ、現品ノ引合ヲ了シタ時ヲ以テ完了スルト云フコトデアアルコト、第三ト致シマシテ買入ハ見本用トシテ拜見後千斤ニ付テ十總ヲ拔取ルコトヲ得ルト云フコト、第四ト致シマシテ品質検査、是ハ五十本デアリマス、品質検査供試

絲並ニ前項ノ見本絲ハ、無償ニテ買入ニ提供スルコト、第五ト致シマシテ買入ノ倉庫ニ引込ミタル荷物ニ對シマシテハ、保管料トシテ百斤ニ付テ金一圓ヲ賣入ニ於テ負擔ヲスルコト、第六ト致シマシテ、荷掛料ハ正量ニ依リ取引セラル、モノニ付テハ之ヲ廢止スルコト、是ハ問題ハ無イヤウデアリマス、第七ト致シマシテ正量検査ニ用キタル所ノ供試絲ハ賣入ニ返還スルコト、第八ト致シマシテ原料検査ハ供試絲ヲ拔キタル後ニ之ヲ爲スコト、検査ハ請求日若クハ少クモ翌日迄ニ完了スルコト、ソレカラ第九ト致シマシテ正量以上正量ノ百分ノ二以上ノ水分アルモノハ、之ガ取引ヲ拒絕スルコトヲ得ル、第十ト致シマシテ受渡目ハ正量千斤ニ對シ二十斤以上ノ過不足ヲ許サナイ、第十一ト致シマシテ賣買兩者ハ當該荷物ニ付テ再度ノ検査ヲ要求スルコトヲ得ル、此場合ニ於テハ代金ノ決済ハ最後ノ正量ニ依ルコト、但シ再検査ノ費用及ビ供試絲ハ請求者ノ負擔トスルコト、第十二ト致シマシテ、代金支拂ハ、賣入ノ希望ニ依リ左ノ二法ノ一ニ依ルコト、一、荷渡完了後十日目、千分ノ五引現金拂ノコト、二、荷渡完了後三十日目拂ノコト、從來ハ四日目ニ支拂テ居タルノデアリマス、之ニ對シマシテ賣入ノ側即チ製絲業者ノ側ニ於キマシテハ、第一ノ正量検査ノ手數料ト云フコトハ、是ハ全廢ヲシテ貴ヒタイト云フコトデアリマス、尙ホ正量取引實施ノ爲ニ生ズル運搬費ハ賣入ノ側ノ負擔ニシテハ差支ナイ、但シ其他總テノ費用並ニ危險ニ付テハ從來ノ慣習ニ依ルコト、ソレカラ第二ニ對シマシテハ原量秤定済ノ時ヲ以テ、當該荷口ヲ買方ニ引渡ヲ了リタルモノトスル、ソレカラ第三ニ付テハ同意スルコトハ出來ナイ、第四ニ付キマシテハ從來ノ慣習ニ依ルコト、第五ニ付テハ異議ナシ、但シ運送及ビ検査中ノ保險料ヲ含ムト云フコト、第六ハ異議ガナイ、第七、第八、第九モ異議ナシ、第十ハ從來ノ慣習ニ依ルコト、第十一ニ付キマシテハ同意スルコトガ出來ナイ、第十二ニ付キマシテモ從來ノ慣習ニ依ルコト、斯ウ

云フ對案ヲ提案致シマシタ爲ニ、輸出業者ト製絲業者トノ間ニ於キマシテハ、其後雙方協定ヲ致シマシテモ到底一致點ヲ見出スコトガ出來ナイ狀態ニナッテ居ルノデアリマス、本問題即チ此輸出業者ト製絲業者トノ間ニ於ケル所ノ紛議、此紛議ノ解決如何ト云フコトガ頗ル重大ナル關係ヲ持テ居ルモノデアリマス、將來生絲ノ取引ノ上ニ於キマシテ其取引ノ圓滑ヲ缺キ、又我國輸出入貿易ノ大宗デアアル所ノ生絲ノ輸出ノ上ニ、非常ナル關係ヲ惹起シテ來ルモノデアリマシテ、極メテ重大デアルト思フノデアリマス、ノミナラズ斯ノ如クシテ直ニ本法ヲ施行スルト云フコトニナリマシテモ、其法ノ成果ヲ收メルコトガ出來ナイノミナラズ、延テハ我國ノ農家ノ唯一ノ副業デアアル所ノ養蠶業ニ至大ノ影響ヲ齎スト云フコトハ、火ヲ暗ルヨリ瞭然ナルコト、思フノデアリマス、此點ガ洵ニ吾々ノ憂慮ニ堪ヘナイ所デアリマス、更ニ只今ノ讀上ダマシタ所ノ輸出業者及ビ製絲業者トノ十二箇條ノ問題ニ付キマシテハ、若モ製絲業者ノ主張ガ通ラズ輸出業者ノ言フガ儘ニ此問題ヲ片付ケタナラバ、我國ノ蠶絲即チ輸出生絲ノ全體ニ於キマシテ約千二百萬圓ノ損失ヲ製絲業者ハ受ケルコト云フコトニナッテ居ルヤウデアリマス、是ハ細カイ數字ノ計算ヲ所持シテ居リマスケレドモ、餘リ時間ガ移リマスカラ是ハ省略致シマス、其千二百萬圓以上ノ製絲業者ノ損失ト云フモノハ、是ハ恐ラク農村ニ影響スルモノデハナカラウカ、製絲業者ノ損失ハ蠶農家ノ副業タル蠶ノ販賣ノ上ニ影響シテ來ルモノデハナカラウカ、即チ吾々ハ二百万ノ養蠶家ノ爲ニ非常ニ憂ヒトナデアリマス、検査手數料ヲ徵收スルコトノ可否ハ從來任意検査デアリマシテ、而モ検査手數料ハ徵收シナカッタ、然ルニ此度法律ヲ以テ検査ヲ強制致シマスルニ付テ検査料ヲ取ルコト云フコトハ、是ハ如何ナモノデアラウカ、吾々ハ殊ニ此検査料ト云フモノハ、極メテ僅少デハナリマスケレドモ、自然ニ農家ト副業ノ上ニ影響シテ來ルモノデハナリカト云フコトヲ心配致シマシテ、若シ出來得ケレバナラバ、從來任意検査ニ於テ手數料ヲ徵

收シナカッタ同様ニ、強制検査ノ場合ニ於テハ尙更検査料ハ徵收セズニ置クコトガ出來ナイカ、所謂検査手數料ハ徵收シナイ方ガ穩當デハナカラウカ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、此點ニ付テハ十分自分ノ意見ノアル所ヲ述べ、又政府ノ所見ヲ質シマシデアリマス、尙ホ此問題ニ付キマシテハ、只今政友會ノ岡田君ヨリ詳細ナル御説明ガアリマシテ、岡田君及ビ加藤君ヨリ極メテ熱心ナル質問應答ヲ重ネマシタルノデアリマシテ、吾々ハ大ニ傾聴致シタルノデアリマス、政府ノ言フ所ニ依リマスレバ、從來ハ正量検査ノ獎勵時代デアッタ、成ベク多ク検査ヲ受ケサシムルト云フ意味ニ於テ手數料ヲ徵收シナカッタ、然ルニ最早十二分ニ其基礎モ發達シテ、又當業者モ其必要ヲ認メテ來ルヤウニナッタルデアラウカ、今回ノ法律ヲ以テ之ヲ強制スル、強制スル以上他ノ強制検査ニ依ル所ノ手數料ヲ徵收シテ故ニ、之ヲ徵收スルハ至當デアルト云フ解釋ナノデアリマス、又検査ノ結果ニ依リマシテ取引上ニ受檢者ノ品物ニ對シテ市價ノ高カラシメ、所謂受檢者ノ利益ナルコトデアリ、其受檢者、即チ特定ノ人ノ利益ヲ享有スルモノニ對シテ、國家全般ニ及ビテ其費用ヲ負擔スルト云フコトハナリノデアリ、ソレハ極メテ不條理デアルト、理論上適當デナイ尙ホ吾々ノ心配致シテ居リマス此農家、即チ蠶農家ノ副業ノ上ニ及ボシマス所ノ影響ニ付テ、輸出生絲ノ市價ガ昂上致シマシテ、其結果自然ニ蠶ノ價值ノ上ニモ好影響ヲ與ヘルモノデアアル、即チ免ニ角検査手數料ノ影響ハ所謂生絲ノ評價ガ高マッタ結果トシテ、却テ農家ノ利益トナルト云フ意味ノ答辯ガアッタデアリマス、此點ニ付キマシテハ成ベク手數料ヲ取ラナイ方が宜イト思フノデアリマスケレドモ、又是ハドチラニモ道理理窟ノアルコトデアリマス、唯、國家ガ財政上ノ關係モ餘程考慮セバ手數料ヲ取ルト云フコトハ最早已ムヲ得ヌコト、デアルト諒解シタルノデアリマス、免モ角モソレヨリモ圓滿ニ本法ヲ施行シマシテ、十分ナル成果ヲ擧ゲテ我ガ蠶絲業ノ發達ヲ圖デアリマス、此意味ニ於キマシテ、思フノ業ノ上ニ於キマシテハ、未ダ施設經營シナケレバナラヌコトガ多々アルノデアリマ

ス、例ハ巴露絲局ノ設置ノ如キ、或ハ露絲業ニ於キマスル金融機關ノ整備ノ問題ノ如キ、其他幾多吾々ハ露絲業ノ上ニ要望致シテ居ルコトガアルノデアリマスガ、何時モ財政上ノ關係ニ於キマシテ吾々ノ要望ハ達セラレテ居ラスノデアリマス、常ニ此點ニ就キマシテハ吾々遺憾ヲ感ジテ居ルモノデアリマスガ、斯ウニ云フ折柄デアリマスカラ、假令此手數料ガ積極の二直ニ是等露絲業ニ對スル所ノ施設ニ振向ケラレナイト致シマシテモ、消極の二依テ將來露絲業ノ上ニ於テ吾々ノ希望シテ居ル要望ヲ實現サスト云フコトモ出來得ルト思フノデアリマス、又政府ニ於キマシテモ、矢張是等ノコトニ付テハ相當努力スルコトニ付テ聲明セラレテ居ルノデアリマスカラシテ、此意味ニ於キマシチ手數料ノ徵收ト云フコトニ付テハ、贊成スルノ已ムヲ得ヌコトニナツテ居ルノデアリマス、唯恐ル、所ハ前ニ申シ述ベマシタ通り、本問題、即チ手數料ノ徵收問題ヲ中心ト致シマシテ、輸出業者ト製絲業者ノ間ニ起テ居リマス紛議如何、此問題ガ洵ニ重大デアリマス、此問題ノ解決ハ洵ニ重要デアリマスルガ故ニ、政府ガ本法ヲ施行スル所ノ施行期日、即チ勅令ニ讓ツテ居リマス所ノ施行期日ハ、勅令勅令ノ未定稿ニ依リマススト云フト、八月一日ヨリ施行スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、八月一日ノ施行デアリマススト云フト、來ルベキ春露ノ絲ヨリ既ニ之ヲ施行サレルコトニナルノデアリマスガ、只今ノ紛議ノ狀態カラ見マスト云フト、到底急速ニ圓滿ナル解決ヲ付ケルト云フコトハムジカシノゾデアリマス、ソレ故ニ八月一日ノ本法ノ施行ト云フコトハ甚ダ面白クナイ、斯様ナ時期ニ於テ本法ヲ施行スルコトハ大ニ考慮シナケレバナラナイ、私ハ此理由ヲ以テマシテ曩ニ委員會ニ於キマシテ、此問題ノ圓滿ナル解決ヲ爲シ、然ルニ於テ本法ヲ施行スルト云フコトガ最も適當デアルト考ヘル之ニ就テハ凡ソ大正十六年一月一日以後ニ於テ本法ヲ施行スルト云フコトガ適當デアルト思フ、其間ニ相當政府モ努力ヲセラレマシテ、製絲業者及輸出業者ト間ニ於テ本關係ヲ圓滿ニ解決致シタナラバ、本法ヲ施行スルニ都合ガ宜カラウト考ヘマシタノデ、此點ニ付テ政府ノ所見ヲ質シタノデアリマス、然ルニ早速農林大臣ハ明確ニ

責任ヲ以テ之ニ應ズルト云フ聲明ヲ致サレ
テ前段デアリマス、是ハ委員長報告、又私ノ
テ政府ハ本法施行ニ付テ必ズ吾々ノ希望ス
ルガ如キ此紛議ヲ十分ニ解決ヲ付ケテ、其
上ニ於テ大正十六年一月一日以後ニ於テ施
行スルト云フコトニ同意サレマシタノデア
リマスカラ、宜シク政府ハ本問題ニ對シマ
シテ最善ノ努力ヲ拂ハレムコトヲ重ネテ望
シテ置ク次第デアリマス、本法ノ施行ヲ餘
リ急ギマス爲ニ、此問題ノ解決ニ對シテ餘
リニ干涉壓迫ヲ加ヘルト云フコトハ、是ハ
宜シクナイノデ、無理ナル解決ヲ爲サシメ
マシテハ、尙ホ將來ニ禍根ヲ貽ス虞ガアリ
マス故ニ、彼等當業者ヲシテ圓滿ニ、自由
ニ、且ツ公正ニ此問題ヲ解決サスルヤウニ、
政府トシテ相當努力サレムコトヲ希望致シ
テ置ク次第デアリマス、次ニ吾々ハ一般養
蠶業者ニ對シマシテ、即チ農村ノ立場ニ於
キマシテ、常ニ不利益ヲ認メテ居ルコトハ
地方多數ノ製絲業者ノ資金ノ關係デア
ルノデアリマス、大ナル基礎ヲ持テ居リ
マス所ノ製絲業者ハ左マデデアリマス
所ノ製絲業者ハ實ニ多數デアリマス、併
ナガラ今日ノ製絲業者ハ實ニ多數デア
リマス、多數ノ製絲業者ハ地方ニ於テ
極メテ小規模ノ經營ヲ致シマシマス、
テ居ル者デアリマス、此小規模ノ製絲
業者ハ概ネ資金ガ缺乏シテ居ルノデア
リマス、此資金ノ融通ニ付キマシマス、
常ニ輸出業者ノ保護、援助ヲ受ケテ居
リマス、是ハ殆ド大部分ト言フモ宜カラ
ウト思フノデアリマス、詰リ先賣ノ契約
ニ依リマシマス、資金ノ供給ヲ仰イデ、
サウシテ農家ノ購入ヲ買出スト云フコ
トガ殆ド大部分デアアルノデアリマス、
カルガ故ニ常ニ輸出業者ニ依リマシマ
ス、其壓迫掣肘ヲ受ケテ居ルノデア
リマス、不利益ヲ受ケテ居ル結果ト致
シマシマス、繭ノ購入ハ農家ノ副業ニ
轉嫁サレテ來ルノデアリマス、今回輸
出業者ヨリ製絲業者ニ要求致シマシタ
重大ナル案件モ、即チ其一ツデアルト
私ハ信ズルノデアリマス、故ニ政府ニ
於キマシテ、將來製絲業者ノ資金ノ圓
滑ト其潤澤ノ途ヲ講ズルコトニ付テ、
今一段ノ考慮ヲ煩シタイ、之ヲ望ンデ
已マナイノデアリマス、即チ政府ニ於
テハ一面ニ於テ農村振興ニ付テ相當ノ
施設ヲ爲シテ居ルト云フコト

デアリマスガ、農村振興ニ對シテハ最も重大ナル關係ヲ持シテ居ルモノデアリマス、故ニ此製絲業者ノ資金ノ關係ニ付キマシテモ、是亦政府ノ責任アル所先ヨリ伺フタノデアリマス、之ニ對シテモ亦先ニ申シマス通り、農林大臣ヨリ吾々ノ希望ニ應ズベク十分ナル考慮ヲスルルト云フ聲明ヲ得タノデアリマス、願ハクバ嘗テ大正九年ノ當時及ビ大正十二年ノ當時、政府ガ製絲資金ノ供給ニ付テ、相當斡旋ヲ致シマシテ、又效果ヲ收メマシタナリ、或ハ特殊銀行其他一般金融業者トノ聯絡ニ付キマシテ、政府ハ出來得ル限りノ方策ヲ講ジテ、以テ此蠶絲業ノ發達ノ上ニ萬違算ナキヲ期セラレシコトヲ希望スル次第デアリマス、此二個ノ條件ニ付キマシテハ、概ネ當業者ニ於キマシテモ、満足ノ意ヲ表シテ居ルノデアリマスカラ、私ハ以上ヲ以チマシテ、二個ノ附帶條件ヲ附シメル所ノ原案ニ賛成スル者デアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 二木洵君

○二木洵君登壇

○二木洵君 此輸出生絲法案ノ實現致シマシタコトハ、我ハ信ズルノデアリマス、而シテ此法案ニ對シマシテハ大體ハ賛成ヲ表スル者デアリマスガ、此検査手數料ヲ徵ス徵シナイト云フコトニ付キマシテ、私ハ隅田君ノ修正案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマシテ、隨ヒマシテ其他ノ二箇條モ矢張同様に賛成ヲ表スル譯デアリマス、先ヅ賛成ヲ表スベキ理由ト致シマシテハ、我國ノ蠶絲業貿易ガ今日マデノ隆昌ヲ致スニ付キマシテハ、横濱ニ於ケル所ノ取引ノ狀態ニ付キマシテ、非常ニ不都合ナ箇條、多年ノ陋習ガ有タノデアリマスガ、是ハ何處デモ改善ヲ致サナケレバ世界ノ市場ニ於テ正シキ取引ヲ行フテ、我國ノ生絲ノ聲價ヲ向上セシメルコトガ出來ナイト云フ所以ニ於キマシテ、政府ガ見ル所アリ又民間ノ人モ多年ノ要望デアリマシテ、茲ニ生絲検査所ノ設立ヲ見ルコトニナリ、隨フテ日ナラズシテ之ガ實施ヲ見ルト云フ運ビニナタノデゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ多年ノ弊害ヲ一洗スルニ付テ、種々ナル困難ノ此所ニ横シテ居ルコトハ固ヨリ當然デアリマス、政府者ト致シマシテモ十分ノ努力ヲ此所ニ費サナケレバ此實現ハ覺スナイコトハ

固ヨリ至當デアリマスガ、之ニ付キマシテ私ノ見ル所デハ、政府ノ取調ガ甚ダ狂瀕デアリ、又堅イ確信ヲ以テ之ニ臨シテ居ラナカ、タ形跡ガアリハシナイカト思フノデアリマス、ソレハナゼカト申シマスレバ、先年來建築ニ著手シ斯様々々ノ次第デ進ンデ行ケバ、此實績ガ速ニ舉ガルト云フ所ノ見込ヲ立テナケレバナラヌノデアリマス、取引上ニ於ケル所ノ種々ナル弊害、錯雜致シマシタル事柄ニ付テハ、十分ノ審査ヲ致シマシタナラバ、此實施ノ場合ニ當リマシテ、迅速ニ輸出業者ト、或ハ製絲業者トノ間ニ紛議ガ生レルト云フヤウナコトガ有ルベキ筈デハナイノデアリマス(拍手)又政府ノ所見ハ八月一日ヨリ之ヲ實施シヤウト云フ御意見デアツテ、既ニ豫算モ御提出ニナツテアリマスレバ、丹下君ノ御希望ニ對シマシテハ之ヲ肯定シテ居ル、即チ大正十六年ノ一月一日以降ニ於テ、此紛議ヲ解決シテ然ル後ニ實行シテ貰ヒタイト云フ希望ヲ肯定シテ居ル所ハ、即チ政府ハ彙ニ八月一日ヨリ實行セントスルト云フ所ノ御趣意ニ對シテハ變更シテ居ル、何ト不見識ナル次第デアリマスマイカ(拍手)是ハ即チ此蠶絲業ノ改良ニ付テノ熱心ノ足ラザル所ヲ示シテ居ル一點デハアルマイカト私ハ思フ(拍手)又私ハ此蠶絲業ノ方面ノ主管大臣ト致シマシテ、此委員會ニ御臨シニナリ、又本會議デ御辯明ニナツテ居ル所ヲ見シテモ、ドウシテモ此業ニ對スル御熱心ノ程度ガ割合ニ深イモノナトナイト云フコトノ鑑定ヲシナケレバナラヌコトハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス(拍手)即チ何デアルカト申シマスレバ、同僚隅田君ノ質問ニ對シマシテ、我國ノ蠶絲業ノ根本策ハ如何デアルカト云フコトニ付キマシテ、先程隅田君ガ申述べラレマシタガ、私モ之ヲ重ネテ言フコトハ皆樣ニ對シテ甚ダ御迷惑ノ様デアリマスガ、私ハ深く信ズル、我國ノ蠶絲業ハ實ニ我國ノ國運ヲ繫グ所ノモノデアリ、此爲ニハ多少ノ時間ヲ割愛セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、早速農林大臣ハ良品ヲ廉賣スル、ノスウ云フ御趣意デアリマス、尤モ貿易ノ上ガザリマシタナラバ、適當ナル御趣意デゴザイマセウガ、併ナガラ我國ノ蠶絲業ト申シマスモノハ、我國特有ト申シテ宜イカ、特殊ノ加工生産品デアリマシテ、一般ノ商品ト同等視スベキモノデアナイノデアリマ

.....

ス、之ヲ良品ヲ造ルト云フナラバ、少クトモ良品ヲ造ルダケノ總テノ徑路、順序、方法、計畫ト云フモノガ立タナケレバナラヌト思フノデアリマス、良品ヲ造ル方法ト申シテ、發達シバ、我國今日ノ蠶絲業ハ、今日マデ、發達シテ參リマシタケレドモ、是ハ不規則——自然ニ委セマシタ所ノ不規則ナル所ノ發達デアリマスルガ爲ニ、製絲ト云フモノヲ順次改良致シテ參リマシテモ、固ヨリ、皆サンノ御存知ノ通り蠶ノ巢デアリマシテ、繭ト云フモノハ蠶ノ巢デアリマスルカラスシテ、其品位、種類ニ依テ「デニール」ノ不整ハ澤山アリマス、類節ノ多イノ澤山アリマス、色ミノ事ガ常ニ亞米利加ノ市場ニ於テ小言ヲ言ハレル種デアアル、之ヲ改良致シマスル、徹底ノ改良ヲスルコトニ致シマシタナラバ、先以テ其品位、種類ノ改良カラ企テナケレバナラヌデアリマス、今日マデ國立蠶業試驗場ニ於テ、是等ノ試驗研究ヲ重ネテハ居リマスルケレドモ、多クハ色ミノ種ヲ弄リ物ニ致シ、オモチャニ致シテ居ル、或ハ名ヲ研究ニ藉リマシテ、自己ノ學位ノ製造ニ取掛ラレルヤウナ人モ今日マデハアタノデアリマス、左様ナマシテ、致シマシテ、國費ノ多クヲ濫費致シマシテ、其實績ハ中々舉テ居ラナイコトモ、吾等御同様日本人ノ一ノ餘隙デアライコトモ思ヒマスルケレドモ、斯ウ云フコトハ今日マデ多クアル、又將來ニモアラウト思ヒマスカラ、私ハ之ヲ憂ヘマスガ、是等ハ別ト致シマシテ、此研究ト云フコトガ、徹底シナイ、而シテ後ニ其實績ノ舉ラナイ所カラ、昨年アタリカラ農林省ニ蠶業試驗場等ノ經費モ大分減ラサレテ、施設モ寂シクナッタデアリマス、左様ナヤウナ譯デアリマスカラ、隨テ新研究、新發見ナドノ現ハル、次第ハナイノデアリマス、茲ニモ良品ヲ造ル所ノ徑路ガ足リナイノデアリマス、又製絲ノ能率ヲ増進シナケレバナラヌ、之ガ即チ良品ヲ造テ、比較ノ廉價ニ行ケル要素デアリマスカラ、良品ヲ造ル爲ニハ——廉價ニスル爲ニハ能率ヲ増進シナケレバナラヌ、製絲能率増進ニ付テハ各業者ガ競テ、其研究ヲ進メテ居リマス、之ニ對シマシテ、政府ハ餘リニ其助長獎勵ノ策ヲ執ラテ居ルト見受テラナイノデアリマス、又政府ガ助長、獎勵ノ策ヲ執ラテ居ル如クニ御吹聴ニナッテ居リマスルケレドモ、其施設ノコトハ何デアアルカト言ヘバ、具體的ニ表

ハレテ居リマスルモノハ、此共同倉庫、繭倉庫、乾繭裝置ト云フコトデアリマスルケレドモ、是モ一部ノ仕事デアリマシテ、決シテ此增收ノ計畫ハナイノデアリマスルシテ、又良品ヲ造ル、即チ品質改善ニ資スルトコトコト對ニナイデアリマセメケレドモ、甚ダ僅カモノデアリマス、ソレ製品質改善ニ資スルノ途ハ何ニ依テモテ居ルカト言ヘバ、現在デハ遺憾ナガラ別ニ是ト言テ見ルベキモノハナイノデアリマス、政府ガ鼻ヲ隆クシテ言ハレル所ノ共同倉庫、乾繭裝置ト云フモノハ、單ニ取引上ノ一緩和策ニ過ギナイノデアリマス、斯様ナコトデアハ到底徹底シタルコトハ出來ナイノデアラウト思ヒマス、而シテ又安ク賣ルト云フコトハ、御趣意デアリマスルケレドモ、是ハ先程モ申上ゲマシタ通り、他ノ商品ト違ヒマシテ此生絲ノ如キヲ安ク賣ルトコトヲ本旨トセラレテハ、吾等堪タモノデアリナイコトモ、現在ニ於キマシテハ絲價ハ正ニ一千七百圓臺ニナッテ居リマスル、安クナルト云フコトヲ御希望デアッテ、モト安ク賣ラレテハ吾等實ニ大變ナコトデアラウト思フノデアリマス、ドウカ此點ニ付キマシテハ絲價ノ維持トカ、絲價安定ノ策ト云フコトガ極メテ緊要ナモノデアラ、之ヲ農林大臣ニ於テ御考慮ノ中ニ加ヘラレ、否御考慮ノ主ナルモノトシテ戴キタイト思フデアリマス（拍手）之ニ對スル御抱負ノ如キハ遺憾ナガラ承ルコトガ出來ナイノデアリマシテ、委員會ノ模様ヲ承リマスレバ、斯ウ云フコトニ付テ、半官半民ノ會社ノ如キモノヲ造ッテ、サウシテ絲價安定ニ資スル所アルノ考ハナイカト云フヤウナコトニ對シテモ、ソレ等ノ如キ考ハ更ニ無イト云フ御話デアリマスガ、我が蠶絲業ノ行詰ラントスル、即チ一面ニ於キマシテ外國ノ生絲ノ發達及ビ人造絹絲ノ脅威ニ依リマシテ、何所迄モ改善ヲシテ行ケベキモノデ、別ニ之ヲ一貫シテ行クト云フ方針デナケレバ、到底前途ノ發達ヲ期スルコトノ出來ヌト云フヤウナモノデアリマシタナラバ、特ニ此助長政策ニ付キマシテハ、一層ノ留意ヲセラレンコトヲ望ムデ止マザル者デアリマス、然ルニ此改良發達ヲ主トシテ行キマスル所ノ正量取引ノ對シマシテ御意見ノ如キモ、前段申述ベマシタヤウナ次次デアッテ、政府ニ方針カ立テ居ナイ、斯様ナコトデアアルナラバ、到底此將來ニ横ハル所ノ

幾多ノ難局ヲ排除シテ行キマシテ、我國ノ蠶業——蠶絲業ヲ何時迄モ發達シテ行クト云フコトニ付テ、非常ニ憂慮ヲ懷ケザルヲ得ナイノデアリマス、私ハ我國ノ此貿易ト云フモノヲ發達致シテ行キマスルニハ、蠶絲業ヲ振興致シマスルコトガ一番唯一ノ捷徑デアラウト思フノデアリマス、二指ノ爲ニ全國ニ於ケル所ノ蠶絲業ヲ十分ニ指導獎勵致シマシテ、發達セシメルコトガ洵ニ容易イコトデアラウト思フ、現在ノ狀態ニ加フルニ、各府縣共悉ク蠶絲業ニ關スル所ノ指導員ヲ設ケテ、ソレハ適當ナル方法ヲ立テ、行キマシタナラバ、蠶絲業ト云フモノハ決シテ冒險ノ仕事デアリナイ、唯、國ト致シマシテモ、茲ニ絲價ノ安定ノ出來ル所ノ策ヲ一ツサヘ立テ行キマスルナラバ、安全ニ收穫ヲ增加セシメルト云フヤウナコトハ極メテ樂ナコトデアリマス、サウシテ今日ノ七百五十萬石ノ產額ヲ一千万石ニ致シマシテ、或ハ八億八千万圓ノ輸出貿易ヲシテ十六億圓ニ致シマシテ、我國ノ歲計豫算全部ヲ負擔スルコトニ致シマスル位ナコトハ、決シテ至難ナコトデナカラウト私ハ信ズルノデアリマス、斯様ナ大抱負、確信ヲ持ッテ農林大臣ガ臨マレタナラバ、決シテ此輸出正量取引ノ如キ、簡單ナル問題ヲ解決スルニ、イタ易イ事デナラト思ヒマス、此意味ニ於キマシテ検査手数料ノ如キ微々タルケチ臭イ所ノ考ヲ持ッテ居ラズシテ、サウシテ是ハ我國ガ此蠶業ノ爲ニ利益スルコトデアッテ、決シテ一部ノ少數者ガ利益ヲ受ケルナドト云フモノデアリナイノデアリマス、即チ利益ヲ受ケルノハ我國ノ全體デアラス、我國全體ガ利益デアリ、受益者デアル以上ハ、我國ノ國費ヲ以テ我國全體ガ受益者デアル以上ハ、我國全體ノ國費ヲ以テ支辨スルニ何ノ不可カララント信ズルノデアリマス、ソレ故ニ検査手数料ヲ取ラヌコトニ賛成致シマシテ、而モ此検査手数料ヲ徵サナイト云フコトニナリマスレハ、眼前ニ二機ヲ居ル橫濱ノ紛糾ナドト云フモノハ、一掃シテ直ニ實行ガ出來ルモノデアラウト確信スルノデアリマス、此意味ニ於テ賛成ノ意ヲ表シマス（拍手）

○副議長（小泉又次郎君）、村上國吉君（村上國吉君）

○村上國吉君 昨今討論中ニ係リマス此輸出生絲稅率法案ニ付キマシテ、丹下君ノ附ケラレタル希望條件ト共ニ、委員長ノ報告ニ賛成シ、隅田君ノ御提出ニ係ル所ノ修正意見ニ反對スル者デアリマスルガ、極メテ簡單ニ其理由ノ存スル所ヲ申述ベタイト存ジマス、隅田君ノ修正ノ御意見ハ、要スルニ手数料ヲ取ラナイト云フコトニ懸マシタルト存ジマス、此手数料ノ問題ニ關シテ法律ハ、此手数料ヲ徵收スルト云フコトヲ法律ノ上ニ規定セズシテ、命令デ以テ規定スルト云フコトハ、憲法ノ精神ニ反スルモノデアラウト云フ説ガアルノデアリマス、又此法案ニ依ル所ノ生絲ノ検査ハ強制検査デアアル、強制検査ヲスルモノニ對シテ、手数料ヲ徵收スルコトハ、不當ナリト云フ議論ガアルノデアリマス、又更に蠶業政策上ノ見地カラ致シマシテ、手数料ヲ徵收スルコトヲ以テ不可ナリトスル議論ガアルノデアリマス、憲法上ノ精神ニ反スルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、委員會ニ於キマシテモ、數次ノ質疑應答ガ重ネラレタコトデアリマス、憲法第六十二條ノ第二項ニ依リマシテ、憲法第六十二條ノ第二項ニ依リマシテ、性質デアリマスルカ、此手数料ヲ徵收スルコトハ、何等憲法ノ違反デアハナイ、即チ租稅ト全ク其性質ヲ異ニスルモノデアラカラシテ、此手数料ノ徵收ハ之ヲ命令ニ讓ルノデアラウト云フ説明ヲ致シテ居ルノデアリマス、此解釋ニ付キマシテハ、私其ハ之ヲ妥當ナリト認メルモノデアリマス、尙ホ其詳細ニ至リマシテハ、莫ハクハ委員會ノ速記録ニ依ッテ、能ク御諒解ヲ求メタイノデアリマスルガ、私が茲ニ主トシテ此手数料ノ問題ニ付テ論ゼント欲スル所ハ、先程隅田君ノ述べラレタル手数料不徵收説、即チ隅田君ノ手数料ヲ取ラナイヤウニシヤウト云フ修正意見ハ、蠶業政策上ノ見地カラテ居ルモノデアルト解釋ヲ致スノデアリマス、隅田君ノ所說ニ付テ少シク之ヲ申シテ見マスルナラバ、其手数料ヲ取ルコトヲ可ナリトスル根據ヲ、隅田君ハ凡ソ四ツニ分ケラレテ居ルノデアリマス、第一ハ我國ノ蠶絲業ハ尙ホ大ニ保護獎勵ヲ要スル所ノ蠶絲業ヨリシテ検査料ヲ徵收スルコト云フコトハ、其保護獎勵ノ精神ニ反スルガ故ニ不可ナリト斯ウ仰セラレノ海外市場ニ其取引ノ延長セザル正量取引ノ實行デアラカラシテ、是ハ畢竟我國ノ製絲家ニ多大ナル損失ヲ負擔セシムルモノデア

ル、損失ヲ來ス上ニ更ニ之ニ検査料ヲ負擔セルト云フコトハ洵ニ宜シクナリ、斯ウ云フ御諭旨デアルト承知ヲ致シテ堪リヤヘシ、第三ニハ、政府ハ検査料ハ甚ダ輕微ナヒノデアリ故ニ、是位ナミ極少手數料ハ當業者ノ負擔シ得ナイモノデナリ、斯ウ云フケレドモ、事實ハ決シテリウデハナイ、政府ノ豫定シテ居ルガ如キ手數料、即チ一俵ニ對シテ一圓ノ手數料ヲ負擔セシムルト云フコトテ、一製絲家トシテハ甚ダ重キ負擔デアル、斯ウ仰セラレテ居ルハ第四ノ點ハ、政府ハ正量取引實施ノ結果トシテ、從來製絲家ノ負擔ニ屬シテ居タル所ノ荷掛金ト云フモノガ、之ニ依テ一掃サレル、即チ從來取引凡ソ一俵ニ付テ九十錢納メテ居タル所ノ此取テモ、其甲ナル者ガ乙ナル者ニ形ガ變ルヲ論テ云フダケデアツテ、殆ド當業者ノ負擔ヲ論ズル程ノ問題デナリ、斯ウ云フケレドモ併ナガラ此荷掛金ト云フモノハ、多年ノ商習慣ヲ爲シテ居ルモノデアルカラシテ、是ガガ假令不合理ナ負擔取引ヲ致シマシテモ、此荷掛金ナリ、此正量取引ガ實行サレルコトニ依テ、綺麗ニ廢止サレルカ否カハ大ナナル疑問デアル、斯ウ云フ見地カラ致シマシテ論ゼラレテ居ルノデアリマス、其中デ先刻モ此壇上ニ於キマシテ、隅田君ハ我國ノ蠶絲業ハ大ニ保護獎勵ヲ要スル、然ルニ政府ハ一向之ニ對シテ意ヲ拂フケラヌト云フ所ノ見地カラ致シマシテ、段々ト論ゼラレトアリデアルシタガ、尙ホ又只今ハ二木君ヨリシテ、同様ノ點ニ於テ幾々御詰ガアリマシタ、此検査手數料即チ一俵ニ付テ一圓ト云フモノガ、蠶絲業ノ獎勵發達ノ上ニ、ドレ位ノ影響ノアルモノデアラウカト云フコトヲ考ヘテ見マスルナラバ、一俵一圓ノ手數料ハ、原量ノ程度一升ニ對シテ、僅ニ六毛ニシカ當リナイ程度ナリデアリマス、私共ハ我國ノ蠶絲業ガ、原量一升ニ付テ凡ソ六毛ニ當ル所ノ手數料ヲ取ルカ取ラヌトカ云フコトガ、此蠶絲業ノ前途ニ對シテ、大ナル支障ヲ來スガ如キ程度ノ問題ノモノデナイト斯様ニ考ヘルモノデアリマス(拍手)或ハ又二木君ハ、政府ハ良品ヲ造ルノガ目的デアルト云フガ、良品ヲ造ルモノハ必然ノ方法ガナクテハナリナイ、其適當ナル方法ヲ講ビズシテ良品ヲ造ルト云フコトヲ言フノハ不都合デアル、ト云フ

意味合ニ於テ、御話デアリマシタケ、私共思フ、此生絲検査法ヲ施行シテ、正量取引ヲ行フト云フコトガ、即チ是レ我國ニ於テ生絲ノ良品ヲ造ル一ツノ有力ナル方法デアリトス様ニ考ヘテ居ルノデアリマス（拍手）何故カイレバ、我國ノ當業者ガ此正量取引ノ實行ヲ望ムヤ既ニ久シイ問題デアリマス、其久シキニ應ジテ、此取引法ノ實行ヲ望ミ來タ所以ノモノハ、折角彼等ガ苦心ヲシ努力ヲシテ、立派ナル所ノ製品ヲ造上ゲマシテモ、從來ニ於ケル所ノ生絲取引ノ關係ニ於キマシテハ、ソレダケノ努力ガ認めラレナイ、ソレダケノ働キガ報ヒラレナイト云フ點ニアタノデアリマス、此正量取引ガ行ハレルト云フコトハ、之ニ依リテ其取引ニ十分完全ナル改善方法ノ全キヲ得タモノトハ申セマセヌケレドモ、併ナカラ行ハレタ生絲取引ノ上ニ於テ餘程ノ改善ガ出來得ルモノデアルト云フコトヲ吾々ハ認メルモノデアリマシテ、斯様ナ方法ヲ用エルコトガ即チ良品ヲ造ル所ノ一ノ有力ナル手段ナリ方法デアレルト、斯様ニ信ズルノデアリマス、隅田君ノ述べラレタ検査料ヲ徴收スルコトハ不可ナリタル最モ力ヲ能メテ検査料ノ徴收ニ反對サル、所ノ點ハ、先ニ私ガ申シマシタル所ノ第二ノ點ニ在ルト思フ、ソレハ此正量取引ヲ行フト云フコトニ致シマシタ所ガ、内地限りナンドアル、今直ニ是ガ海外ニ延長サレナイコトニナッテ居ル、故ニ當分ニ間ト云フモノハ、此法ヲ施行ニ依リテ儲ケル者ハソレハ輸出商デデアテ、生絲家ト云フ者ハ悉ク、是ガ爲ニ損失ヲ致サナケレバナラヌモノデアアル、此前提ノ下ニ斯様ナル結果ヲ來スモノデアアルニモ拘ラズ、其上ニ検査料ヲ徴收シテ、生絲家ノ負擔ヲ重クスルト云フコトハ、延イテ來スモ蠶絲界ノ前途ニ洵ニ寒心スベキ結果ヲ來スモノデアアルト云フ意味ニ於テ、カヲ極メテ此徴收ニ反對セラレテ居ルモノト私ハハハハ解釋シテ居リマス、政府ガ本案ヲ施行スル上ニ於キマシテ手数料ヲ徴收スルト云フコトハ、此正量検査ヲ施行シテ、正量取引ガ行ハレルコトニシタナラバ、當然ソレハハハハ我國ノ生絲家ノ爲ニ、換言スルナラバ、我ガ蠶絲界ニ必ズ利益ヲ齎ラヌモノデアアル、此特別ナル所ノ利益ヲ受クル者ニ對シテ、此法ノ施行ニ要スル經費ヲ負擔サセルト云フコトハ、決シテ是ハ不當デナイト云フコト

トノ見地ニ立ッテ居ル者デアリマス、隅田君ニ於キマシテモ、正量取引ト云フコトガ合理的デアリマシテ有、正量取引ハ十分ニ認メラレテ居リマスルガ、唯、今曰ハ此政府ガ行ハントスル所ノ正量取引ト云フモノハ、内地ニ限ラル、カラ、ソレデ之ニ依ッテ利益スル所ノ者ハ輸出商人デアアル、斯ウ云フコトカラ反對サレテ居ルモノデアリマス、ノミナラズ既ニ先刻丹下君ガ御讀上ゲンナリマシタ如ク、此取引ヲ行ハントスル所ノ機會ニ乗ジマシテ、輸出商人ハ我國ノ生絲家ニ對シテ十二箇條ノ條件ヲ提出シテ居ル、斯ウ云フ折柄デアアルカラ、海ニ是ハ生絲家ニ取ッテ由々數キ大事デアルトサレテ居ルノデアリマスガ、之ニ付テ吾々ノ考ヲ申シテ見マスルナラバ、成程隅田君ノ仰セラル、所ノ我が内地デノミ此正量取引ガ行ハレルト云フコトデアリマスルカラ、隅田君ノ述べラレル所ハ確ニ一面ノ理由ガナイトハ私ハ申サナイ、併ナガラ之ニ依ッテ生ズル所ノ利益ガ悉ク輸出商ニ依ッテ壟斷サレルモノデアルト云フ所ノ御解釋ハ、海ニ片寄リ過ギタル偏見デハナйкаト私ハ思フノデアリマス、若シ左様ニ之ニ依ッテ生ズル所ノ利益ガ、輸出商ノ專有ニ歸スルモノデアルトスルナラバ、如何ニ其利ヲ漁ルニ急ナル輸出商人達ト雖モ、更ニ此機會ニ乗ジテ、丹下君ガ申サレマシタ如ク十二箇條ノ要求條件ヲ提出シテ來ルガ如キ無理非道ナルコトハ決シテスベキモノデハナカハラウ、從來行ハレテ居タ所ノ取引ニ較ヘテ、此正量取引ヲ行フ結果ハ、即チ輸出商ニ取テ旨味ガナクナル、少クトモ旨味が少クナル、故ニ之ニ變ルベキ何モノカヲ得ンケレバナラスト云フコトカラ、即チ十二箇條ノ要求條件トナッテ來タモノデアアラウト私ハ解スルノデアリマス、併シソレト同時ニ私ハ此正量取引ヲ行フト云フコトニ依リマシテ、政府ノ一部ガ頻ニ計算ヲサレ、唱道サレテ居リマスルガ如ク、其利益ノ悉ク製絲家ノ利益ニ歸スルモノデアルト私ハ即斷スル譯ニモ參ナナイト思ヒマス、要スルニ今マデ此我國ノ生絲取引ノ上ニ於キマシテハ、御承知ノ如キ猶豫水量ト云フモノガアタ、此正量取引ヲ行フ結果トシテ、從來ノ取引ノ上ニ操ツリノ種トナッテ居タ所ノ猶豫水量ト云フモノガ認メラレナクナル結果トシテ、ドウシテモ是ハ輸出商ノ爲ニハ大ナル不利益、イヤ不利益ト

申ス譯テハナイガ、從來程ノ信ケテクニナルト認メナケレバナラナイ、ソレガ直接ニ來ルカ、間接ニ廻リ廻テ來ルカハ兎も角ト致シマシテ、必ズヤ其結果ハ製絲家ヲ利スルモノデアルト斷定致シマシテ、決シテ是ハ間違ヒノナイモノデアルト吾々ハ信ズルノデアリマス(拍手)又萬田君ハ此正量取引ハ内地ダケデ行フノデアルカラ、甚ダ不十分デアルト申サレタガ、成程其通りデアリマス、併ナガラ我國ノ生絲ノ大輸出地デアリスノ亞米利加ニ於キマシテハ、千九百二十一年即チ大正十年ニ其絹業協會ノ生絲取引規則中ニ、日本生絲ハ早晚正量ニ依テ取引セラルベク決定シテ居ルカラ、猶豫水量ヲ認メルノハソレマデニ過ギナイト云フ旨ヲ記載シテ居ル事實ガルノデアリマスコト、此絹業協會ノ生絲取引規約中ニ以上ノコトガ記載サレルヤシウニナッタト云フコトニ付テハ、長イ間ニ涉タル幾多ノ沿革ト、經緯トヲ幾ラモ持ッテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ玆ニ中達ベルコトハ差控ヘマセウ、併ナガラ亞米利加ノ當業者ニ於テモ、日本ノ國ニ於テ生絲検査所ノ擴張ガ出來タナラバ、即チソレカラ正量取引ヲ行フコトニナル、日本ノ生絲ニ對シテ猶豫水量ヲ認ムルト云フコトハ、唯、ソレマデノ期間ニ過ギナイト申シテ居ル位デアリマスカラ、愈、我國ニ於テ此法案ヲ施行スルコトニ致シマシタナラバ、此亞米利加ニ於キマシテモ必ズヤ速ニ取テ以テ我國トノ間ニ正量デ以テ生絲ノ取引ヲスルト云フコトニナル事ハ萬誤リハナイト私共ハ確信致シテ居ルノデアリマス、斯様ニシテ見マスナラバ、此正量取引ノ施行ハ必ズヤ我國ノ製絲家ニ大ナル利益ヲ齎スモノデアルト認メ、サウシテ亞米利加ニ於テモ遠カラズシテ正量ニ依テ我國トノ生絲ノ取引ガ行ハレルコトニ相成リマスレバ、先刻萬田君ノ段々ト御心配ニナラタコトハ、先ヅ以テ左様ニ御心配ナラナクテモ宜イト云フ結論ニ到著スル私共ハ考ヘルノデアリマス、ソレカラ斯様ニ觀察致シテ見マスルトキニ、吾々ハ政府ガ此法案ノ施行ニ要スル所ノ經費ハ、受益者ノ負擔トシテ其手數料ヲ徴收セン計畫ナルコトハ、必シモ無理ナク又不當ナル計畫デナイト云フコトヲ信ジ、サウシテ先刻丹下君ガ述べラレマシタルガ如ク、此事業ヲ施行スルコトニ依ッテ、國費ハ頗ハスト云フヤウナコトヲ避ケテ、國費ノ一部ヲ割イデ、

更に積極の二蠶絲業ノ獎勵助長ノ爲ニ其經費ヲ充テルト云フ途ヲ講ジテ置キマスことトモ、亦我國ノ蠶絲業ヲシテ將來アラシムル所以デアルト云フ意味ニ於キマシテ、吾々ハ此検査料ヲ取テ宜シト云フコトニ賛成スルモノデアリマス、又隅田君ハ一俵一圓ノ手數料ハ甚ダ過重デアアル、ソレハ一俵一圓一千圓ノ生絲ト致シマス、其中ノ八割即チ一千六百圓乃至一千七百圓ト云フモノハ原料代アリマスカラ、生絲ノ代價ノ中カラ原料代ヲ差引イタ残リノモノデ以テ一圓ノ手數料ヲ負擔センケレバナラヌコトハ甚ダ過重デアアル、斯様ニ隅田君ハ絶エズ述ベラレテ居タルデアリマスガ、併ナガラ私共ハ前ニモ申上ゲマシタ如キ理由ニ依リ、其他總テノ點ヲ考慮致シマシテ、一俵ニ付テ一圓位ノ手數料ハ決シテ左様ニ不當ナ重課ノモノデアルトハ思ハナイデアリマス、最後ニ第一ノ點ニ付テハ一言ヲ致シテ置キタイト思ヒマスガ、此横濱ノ内外輸出商聯合協議會ノ決議トシテ、製絲家側ニ致サレマシタ所ノ此十二箇條ノ條件ハ、第三者のニ吾々ガ考ヘマシテ、如何ニモ傍若無人ナ苛酷ナ條件デアルト思ヒマスガ、併ナガラ從來輸出商ノ方ミガ收得シテ居リマシタ所ノ其收入ノ一部ヲ、此正量取引ノ施行ニ依テ失フト云フコトニナリマス其代價ト致シマシテ、我製絲家ノ方ニ於キマシテモ何物ヲカハ提供センケレバナラヌコトニナリマス、ハ當然デアルト思ヒマス、サウスルコトニ依テ此製絲家ト輸出商間ニ於ケル所ノ此問題ハ、當然ニ妥當ニ、而モ圓滿ニ是ハ解決サレベキモノデアアル、又解決サレナケレバナラヌモノデアアル存ジマスガ、若シソレバ左様ニ適當ニ解決サレト云フコトニナリマシタナラバ、從來ノ荷掛金ト云フモノハ成程之ニ依テ消滅スル、併ナガラソレノ代價トシテ製絲家ガ或何物カヲ提供センケレバナラナクナツト云フ譯合テナクシテ、總テノ事情ヲ包括シタル意味合ニ於テ、ソレ等ノ問題ハ當然ニ解決サレベキモノデアアルトス様ニ信ズルモノデアアルマス、サウシテ此製絲家ト輸出商間ニ於ケル所ノ、今日眼前ニ横ハツテ居リマス紛議ト申シマスガ、葛藤ト申シマスガ、私ハ是ハ紛議トカ葛藤トカハ申サナイ、兎ニ角一方カラ要求ガ出テ、其要求條件ヲ如何ニ扱フカト云フコトガ、今日兩方間ノ交渉案件ニナツテ居ルデアリマスガ、此交渉

案件ハ當然私ハ適當ニ解決サレベキモノデアルト信ジマスガ、併ナガラ若シ其解決ニ無理ガアツタリシテハ相成ラナイ、其又解決ガ出來ナイ前ニ此本法ヲ施行スルコトニナリマシタナラバ、ソレコソ我國ノ輸出ノ大宗タル所ノ生絲ノ取引ノ上ニ於テハ、非常ニ損害ヲ來スモノナリナツテ、國家ノ不利ノヨリナルモノハナイトス様ニ考ヘマスルカラ、隨テ此法ヲ施行スル所ノ時期ニ關シテハ、政府ハ十分ニ適當ニ之ヲ考慮サレナケレバナラヌト云フ所ノ丹下君ノ先程述べラレタル希望條件ノ第一ト云フモノハ、吾々ハ當然ノ希望ナリトシテ之ニ賛成ヲ表スルモノデアリマス(拍手)同時ニ又從來動モスルト製絲家ガ、輸出商カラ或ハ問屋カラ絶エズ掣肘ヲ受ケテ居タ、是ハ畢竟製絲ニ要スル所ノ資金關係ニ外ナラナイデアリマスルガ、此事ニ付キマシテハ、我國ノ蠶絲界ノ重大ナル問題トシテ、多年營業者ノ間ニモ色ニト研究サレ、又政府ニモ建議サレ、或ハ當議會ニ於キマシテモ、屢々政府ニ建議ヲ致シテ居ルヤウナ事柄デアリマス、之ニ付テ政府ガ適當ニ考慮セヨト云フ所ノ要求ヲ致シマスルコトハ、是亦當然デアツテ、此要求ヲ致シマスルコトニ於テ、吾々何等遲疑スル所ハナイデアアル、即チ此丹下君ノ希望條件ノ第二ニ賛成ヲ致シテ置ク次第ナラデアリマス、以上吾々ノ所見ヲ極ク大要ヲ申上ゲマシテ、委員長ノ報告ニ賛成ヲ致シ、隅田君ノ御提出ニナツテ居ル所ノ手數料徴收シナイト云フ御意見ニ反對ヲ致ス次第デアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 畔田明君

○畔田明君 只今村上君ヨリ段々ノ御議論ヲ拜聴致シマシタ、其御論旨ハ要スルニ政府ガ正量取引ヲ創始致シタコト、ソレ自身ガ非常ニ産業保護デアアル、斯ウ云フヤウニ解シタデアリマス、村上君ハ此道ニ就テノ御専門家デアリマスルカラ、能ク御承知ト思ヒマス、我國蠶絲業ノ大勢ト云フモノハ餘程最近ハ變テ來テ居リマス、即チ米ヲ作りマス以外ニ於キマシテ、雜穀ヲ作リマスル點ニ於キマシテハ、餘程合ハナクナツテ來タ、隨テ農家ノ大勢ハ出來得ルダケ養蠶ノ集中ヲ致シテ居ル、言換ヘバ從來副業デアリマシタ養蠶ハ、段々ニ本業ニナリツテ、アルモノデアリマス、斯様ニ大勢カラツクヘマスレバ此手數料ノ問題、是ハ輸

出商ガ負擔スルノハ直接デアリマスルガ、間接ニハ製絲家並我國民中大多數ヲ占メテ居リマスル所ノ農民ガ負擔致スコトニナルデアリマス(拍手)若シ政府ノ蠶絲政策ガ徹底シタモノデアリマシタナラバ、必ヤ此點ニ徹底シテ解決ヲ致サナケレバナラヌ、然ルニ本案ハ極メテ其點ニ於キマシタ手溫イモノデアリマス、併ナガラ私ハ蠶絲政策ソレ自身ヨリモ、他ノ點ヨリ本案ニ付テ自分ノ意見ノアリマスル所ヲ申上ゲタイト思フ、ソレハ本案ト我が帝國議會立法權トノ限界デアリマス、御承知ノ如クニ國家ガ其權力ヲ以テ國民ノ自由ヲ侵害致シマスル場合ニハ、必ズ法律ニ依ツテ致スベキコトヲ要求致シテ居リマスルノハ、近世法治國ノ原則デアリマス、立憲國ノ常態デアアル、又法律ナケレバ罰ナシ、是モ近世立憲國ニ共通致シマシタル所ノ原則デアリマス、我憲法ニ於キマシテモ是等ノ原則ヲ認メテ、保障ヲ致シテ居ルノデアリマス、憲法ノ第二十三條並ニ第二十七條ニ之ヲ歴然ト記載致シテ居ルデアリマス、併ナガラ是ニ對シテ大ナル制限ガアル、此制限ガアルガ爲ニ本案ノ如キ其實態ニ於キマシテハ左程ノ缺點ハナイニ拘ラズ、甚ダ不合理ナモノヲ生ジテ來タルデアリマス、ソレハ何カラ來タカト申シマスレバ、明治二十三年ノ法律第八十四號デアリマス、是ハ命令ノ條項違反ニ關スル罰則ヲ規定致シタモノデ憲法違反後其實態前ニ於テ定メラレタル所ノ法律定アル、帝國議會ニ於テ制定シタル法律デハナイノデス、其實態前ニ此法律ニ無條件ニ行政權ニ罰則ヲ委任シタルガ爲ニ、本案ノ如キ不合理ノ法律ガ其後度々出テ來タ、殊ニ官憲時代ノ我が政府ハ、立法事項即チ國民ノ自由權ヲ侵害スルコトマデモ、皆命令ヲ以テ之ヲ制限シ、或ハ手數料ヲ徴スルト云フヤウナ不法ノ慣例ニナツテ參タノデアリマス、是ハ委員會ニ於キマシテ政府當局ヨリ度々慣例ニ依ルト云フ言葉ガ繰返サレテ居ルノデ明カデアリマス、本案ハ第一一條ニ於キマシテ輸出生絲ノ強制検査ヲ規定致シテ居ルノデ以下ノ罰則ヲ規定致シテ居ル、併シ手數料ヲ徴スル明文カナイ、又此手數料ヲ徴スルコトヲ命令ニ委任スルコト云フ規定モ存シテ居ラナイデアリマス、然ルニ一方ハ豫算ニ検査手數料ヲ計上致シテ居ルノデアリマス、即チ政府ハ法律ヲ

以テ強制シタル義務ノ履行タル検査ヲ受クルト云フコトニ付テ、命令ヲ以テ其手數料ヲ徴收セント致スノデアリマス、而シテ政府ハ斯ノ如キ規定ハ憲法第六十二條ノ第二項ヨリ當然ダト稱シテ居ルノデアリマス、只今此項上ニ於キマシテモ村上君ヨリ同様ニソレヲ繰返シテ居ル、憲法第六十二條ハ「新ニ租稅ヲ課シ及稅率ヲ變更スルハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ」第二項ニ但シ報償ニ屬スル行政上ノ手數料及其ノ他ノ收納金ハ前項ノ限ニ在ラス」ト斯ウ規定致シテ居リマス、是ハ租稅ハ總テノ場合ニ於テ法律ニ依ルベク、手數料ハ必ズシモサウデナイ、事ノ性質ニ依ツテ命令ニ依リ或ハ法律ヲ要スルコト云フ意味ニ解釋致スノデアリマス、手數料ノ中、之ヲ徴收スル結果國民ノ自由權ニ影響シマスル場合ニハ、手數料モ亦法律上ノ根據ヲ要スルコトハ明カデアアル、此規定ノ精神ヨリシテ明カデアリマス、サウシテ其場合ハ政府ノ行為ヲ求メマスルコトガ法律上ノ義務タル場合ニハ、其手數料ヲ法律ニ非ザル形式ヲ以テ規定シ得ベキモノデアハ決シテナイ、一定ノ法律ニ於キマシテ或ル行為ヲ國民ニ強制シナガラ、國民ガ此強制セラレタル所ノ義務ヲ履行セントシマスレバ、法律ニ基カザル所ノ手數料ヲ徴スル、斯ウ云フコトハ此立憲法治國ニ於テハ容スベカラザル所ノ現象ハ信ズルデアリマス、本案ノ生絲検査モ亦是ノ同様デアリマス、法律ニ依リマシテ義務ヲ強制スベキコトヲ規定シ、後ニ帝國議會ノ關與シナイ所ノ行政命令ニ依リマシテ手數料ヲ徴收ヲスルガ如キハ、不合理ト謂ハナケレバナラナイ、花菱検査規則ニ於キマシテ手數料ヲ取テ居ルデアリマス、斯ウ云フ御議論ヲ承テタデアリマス、花菱検査規則ハ命令ニ依ツテ定メタ、此根本ニ付キマシテハ私ハ異議ガアリマス、併ナガラ命令ニ依テ定メタモノデアリマスルガ故ニ、命令ニ依ツテ手數料ヲ規定シマスノハマダ是レ均衡ガ取レテ居ル、然ルニ本案ハ法律ニ依ツテ強制スル、サウシテ其法律ニ何等ノ規定ガナイ、帝國議會ノ關與セザル所ノ行政命令ニ於テモ得テ居ラナイデアリマス、均衡ニ於テモ得テ居ラナイデアリマス、若シモ法律ニ於テ例ヲ求メマスナラバ、私ハ重要物產組合法ノ如キハ其好キ例ニナル思フノデアリマス、此法律ニ於キマシテハ第四條ニ強制加入ヲ規定致シテ居リマス、

隨テ第十條ニ金錢問題ヲ解決致シテ居ル、又商業會議所法ノ如キモ同様デアリマス、是ハ御承知ノ如クニ強制加入デアリマス、ガ故ニ、第三十條ニ經費ノ規定致シテ居ルデアリマス、若シ所謂慣例ニ依ルキト云フコトデアリマス、本例ノ如キハ此重要物產組合法或ハ商業會議所法ニ依ルベキコトガ至當ト存ゼラル、ノデアリマス、隨テ本案ノ手數料ト云フモノハ寧ろ手數料ノ名前アリマス、其性質ニ於キマシテハ租稅ト同様ニ見ルベキモノデアリマス、各國ノ立法例ヲ見ルニモ又其實際ヲ見マシテハ、西或ハ地租トナシテハ、租稅ト手數料ノ區別ニ付テハ付カナイ場合ガ多イノデアリマス、殊ニ地租ハ相續稅、所有權轉移稅、如キヲ稱シテ手數料ト云ヒ、英國ニ於テモ同様ニ曖昧デアリマス、之ヲ要シマスルノニ、本法ノ場合ハ檢查ノ強制ハ法律ニ依ル所ノ立法機關ガ、此點ニ於テ何等ノ意思表示ヲセズシテ檢查ヲ強制シタル場合ニハ、國民ハ無手數料ニテ檢查ヲ受ケ得ベキモノト解スルコト至當ト致スノデアリマス、隨テ以上ノ理由ニ依リマシテ、私ハ委員長報告ノ政府原案ニ反對アリマス、終ニ修正案ニ賛成アリマス、立法權今後ノ爲ニ、私共同志ノ憲法第六十二條第二項ニ對スル所ノ解釋ヲ闡明致シテ置キマス、一帝國憲法第六十二條第二項ニ「但シ報償ニ屬スル行政上ノ手數料及其他ノ收納金ハ前項ノ限リニアラス」トアルハ、唯、行政上ノ手數料其他ノ收納金ガ必ズシモ立法ヲ要セザルヲ定メタルノミニシテ、其總テニ關シテ當然命令ニヨリ徵收シ得ベキモノト認メタルニアラス、其命令ヲ以テ定メ得ルハ唯、其收納ノ本來ノ性質上法律ヲ要セザルカ又ハ憲法ノ他ノ條項ニ基キ命令ヲ以テ定メ得ベキ所ニ屬スルモノニ限ル、憲法ノ他ノ條項並ニ精神ヨリシテ法律ヲ要スベキ場合ニハ依然帝國議會ノ協賛ヲ經タル立法ヲ要スルモノトス、二行政行為ニ對スル報償ト雖モ、其反對給付タル行政行為自體ガ、法律ニ依リテ定メ得ベキ所ニ屬スル場合、例ヘバ租稅徵收手數料ノ類、若クハ其反對給付タル行政行為ガ、現ニ法律ニ依リテ定メラレタル場合、本件ノ輸出生絲ノ檢查ノ如キ類ニハ、其報償タル手數料亦法律ニ依ラザ

ルベカラズ、三、公衆ノ自由使用ニ供セラレ、公物ノ使用ニ付キ、使用料ヲ徵スル場合、國家ノ營造物ノ利用ガ強制セラル、場合、若クハ國家ノ獨占ニ屬スル場合ニ於テモ、其使用料ハ法規ノ根據ヲ要ス、以上申上ダマシテ通りデアリマス、(拍手)
○作間耕逸君 第二讀會ノ討論ハ此程度ニ止メラレシコトヲ望ミマス
〔贊成〕ト呼フ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 只今政府委員ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、作間君ノ動議ノ採決ハ後ニ廻シテ居リマス、山川政府委員〔政府委員山川端夫君登壇〕
○政府委員(山川端夫君) 只今昨田君ノ御議論ガアリマシタカラ、此點ニ付キマシテハ、委員會ニ於テ極ク明ニ申上ダテ置イタルデアリマス、併シ此所ニ問題ガ出マシタカラ、極ク簡單ニ政府ノ意ノ在所ヲ申上ダテ、御議論ノ根據ハ、最後ニ御話ニナリマシタヤウニ、本案ノ手數料ハ、手數料ト云フテレドモ其實質ハ租稅ニ同ジ、此點カラ總テ御議論ガ出テ居ルヤウニ見受ケラル、ノデアリマス、本案ノ手數料ハ、租稅トハ全然性質ガ異ナリ、行政上ノ報償ノ性質ヲ持シテ居ル手數料デアリマス、檢查ノ性質ヲ爲ニ、國家ガ或ル設備ヲ爲シ、輸出ヲスル者ハ其設備ヲ利用シテ檢查ヲ受ケ、其生絲ノ值打ヲ國ニ依リテ保障シテ貰フ、サウ云フ特殊ノ報償ノ性質ヲ持シテ居ル所ノ手數料デアリマス、ルカ、之ヲ租稅ト同ジヤクニ見マシテ、唯一般ノ二或金ヲ取上ダルト云フコトヲ元ト致シマシテ、租稅ヲ徵收スルト云フ場合トハ全然違フノデアリマス、ソレデ憲法第六十二條第二項ニ於キマシテ明ニ其事ガ書イテアル、租稅ハ無論法律ニ依ラナクチャイカヌ、併ナガラ此手數料ニ付テハ前項ニ依ルノ限リニ在ラズ、今昨田君ノ御述ニナクテ通りデアリマス、詰リ前項ニ依ルノ限リニ在ラズト云フコトハ、法律ニ依ラナクテモ宜シイト云フコトデアリマス、何等ノ制限ヲ置イテ居ナイノデアリマス、ソレデ尙ホ先例ト致シマシテ色々御引用ニナクテ居リマス、ルカ、手數料ニ付テハ法律ニ依リテ強シナガラ、手數料ニ付テハ勅令ニ依ルト云フ例ハ幾ツモアルノデアリマス、例ヘバ屠場法ノ問題、或ハ船舶法ノ問題、其他サウ云フ例ハ、舉ダレバ幾ラモアルノデアリ

マス、ソレデ本案ニ付キマシテハ、手數料ヲ徵收スルニ付テ法律ノ規定ヲ要シナイ、憲法第六十二條第二項ノ規定ニ依リマシテ、命令ヲ以テ之ヲ定メテ差支ナイト云フ見解ヲ執リテ居ル次第デゴザイマス、唯一言其事ヲ明ニ致シテ置キマス、(拍手)
○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ヲ採決致シマス、作間君ノ討論終結ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ討論ハ終結致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、只今成立シタル修正案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
〔贊成者 起立〕
○副議長(小泉又次郎君) 起立少數デアリマス、仍テ修正案ハ否決セラレマシタ、次ニ委員長報告ニ付テ採決ヲ致シマス、委員長ノ報告ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
〔贊成者 起立〕
○副議長(小泉又次郎君) 起立多數デアリマス、仍テ委員長報告ニ終結致シマシタ、是ニテ第二讀會ハ終了致シマシタ
○作間耕逸君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
輸出生絲檢查法案 第三讀會
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 別ニ御發議ガナイヤウデアリマス、仍テ本案ハ第二讀會議決ノ通り可決確定致シマシタ、(拍手)日程第三十三及第三十四ハ、同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第三十三、郵便年金法案、日程第三十四、郵便年金特別會計法案ヲ一括シテ其第三讀會ノ續行ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長作間耕逸君

大正十五年三月十日 郵便年金法案委員會長 作間 耕逸
衆議院議長粕谷義三殿
第三十四 郵便年金特別會計法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一郵便年金特別會計法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十五年三月十日 郵便年金特別會計法案委員長 作間 耕逸
衆議院議長粕谷義三殿
〔作間耕逸君登壇〕
○作間耕逸君 郵便年金法案及郵便年金特別會計法案ヲ一括シテ、其委員會ノ經過並ニ其結果ヲ御報告致シマス、本案ノ委員會ハ、三月三日以來同リ重ナルコト七回、其間政府ノ間ニ質問應答ヲ續ケ、慎重審議ヲ致シタルデアリマス、其結果滿場一致ヲ以テ、政府提出ノ原案通り可決致シタルデアリマス、郵便年金制度ハ社會政策ノ施設デ、即チ中産階級以下、庶民ノ老後生活ノ安定ヲ保障スル所ノ效果ヲ有シマス、調ハハ一種ノ防貧制度ニ屬スルモノデアリマシテ、歐米各國ニ於テハ、夙ニ發達普及セルモノデアリマス、我ニ於キマシテハ、未ダ廣ク一般ニ行ハレマセヌ、寧ろ新シキ施設ト謂フベキデアリマス、故ニ、委員會ニ於キマシテハ、制度ノ大體ヨリ、其内容ノ詳細ニ至リマス、ルマデ、十分ニ質問應答ヲ重ネ、審議致シタルデアリマス、其間若官、濱田、青木、佐藤及平野、其他ノ各委員諸君カラ、有意義ナル質問ガ出タルデアリマス、其中主ナル三點ニ付テ、此所デ御紹介申シテ置カウト思ヒマス、其質問ノ第一ハ、此事業ハ遞信省ニ於テ簡易保險ト併セ行フノデアルカラ、寧ろ是ト合併スルノ適當トハシナカ、殊ニ特別會計ハ成ベク整理スルコトヲ方針トスル今日ニ於テ、新ニ此事業ノ爲ニ特別會計ヲ設クルノハ、當リ得テ施設ト云ヘナイデハナイカ、何故簡易保險ト合同セズシテ、別箇獨立ノ特別會計ト爲シタルデアルカト云フ點デアリマシタ、此點ニ付キマシテ政府ハ、簡易保險ト年金事業トハ、其目的、種類ノ異ニ致シテ居ル、且ツ計算ノ基礎ヲ別ニシテ居ルノデアアル、又制度ノ對象デア

第三十三 郵便年金法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一郵便年金法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

第三十三 郵便年金法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一郵便年金法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

第三十三 郵便年金法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一郵便年金法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

第三十三 郵便年金法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一郵便年金法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

リ砲撃サレタ事柄デアリマス、此砲撃ニ依ッ
テ司令官デアッタ海軍中佐遊ニ辻大尉、其
他ノ艦員ガ負傷ラシテ、驅逐艦ハ遂ニ航行
ヲスルコトガ出来ズシテ、遂ニ太沽ノ沖ニ
沈タノデアリマス、此事實ハ洵ニ新聞ニ

於テハ種々立テラレテアリマスルガ、
實際ノ狀況ハ如何ナモノデアリマシタカ、
又斯ル事件——國際上ニ重要ナル事柄ガ突
如トシテ起テ來ルノハ、何カソレヲ導ク
ベキ所ノ原因ガアツタノデアリナカ、青天
白日ノ下ニ帝國ノ國旗ヲ掲ゲタル所ノ驅逐
艦ガ、國民軍ノ爲ニ砲撃ヲ受ケルコト云フヤ
ウナ海ニ殆ド常識ヲ以テ判斷スルコトノ出
來ナイヤウナ事柄デ、如何ニ支那ノ兵隊ノ
無識ナルニシテモ、斯ル亂暴ナル狼藉ナ
ル所ノ事柄ヲ我ガ帝國ニ加ヘタルコトハ、
殆ド信ズベカラザル所ノ暴舉ト謂ハナケレ
バナナナイノデアリマス（拍手）ハ帝國ノ
國旗ニ對シテ大ナル侮辱ヲ與ヘタルノミナ
ラズ、國際上ニ於ケル所ノ此正義ヲ無視シ
テ、無暴ナル亂暴ナル舉動ヲサシタト云フ、
又シタト云フ事柄ノ其根源ニ於テ、何等カ
我ガ海軍ニ於テ不注意ノ點ハ無カトナレ
アルカ、之ニ就テハ色々ノ説ガ唱ヘラレテ
居テ、即チ支那官憲トノ連絡ガ十分デナ
カッタ爲ニ、驅逐艦ガ或ハ一艘ノ約束デア
ノガ二艘デアツタガ爲ニ、間違タノデア
ルカ、或ハ塘沽ノ沖ニ於テ一定ノ場所ニ船
ヲ止メテ、サウシテ支那ノ官憲ノ認識ヲ受
ケナケレバナナナイ約束モノヲソレヲ非
常ナ速力ヲ以テ此約定ヲ無視シテ日本ノ軍
艦ガ通過シタルノデアルカ、或ハ又日本ノ
官憲ト約束シタル所ノ時刻ガ違フテ居
タカ其他色々ノ事ヲ以テ我ガ海軍ノ失策ノ
如クニ之ヲ唱ヘテ居ルノデアリマス、此點
ハ十分ニ私共ノ信ズル所ヲ以テ見レバ、我
ガ海軍ニ於テ斯ノ如キ不注意ノ點ノ不注意
アルベキ理由ハ無イト信ズルノデアリマス
頻ニ海軍ノ如キ宣傳ヲスル、之ニ對シテ明
ナル海軍ニ於テ聲明ヲセラレテ、此席ニ於
テ十分我ガ態度ニ於テハ何等之ニ對シテ誤
リノ無イ、少シモ缺點ノ無イト云フコトヲ
明白ニシテ戴キタイノデアル（拍手）又傳
ル所ニ依レバ、奉天軍ガ今太沽ノ沖ニ於テ
國民軍ト戰端ヲ開イテ居ルノデアリマス
ガ、此奉天軍ガ開イテ居ルノ國旗ヲ濫用シ
テ、サウシテ軍艦ニ揚ゲタル云フヤウナコ
トモ聞イテ居ルノデアリマス、斯様ナ事ガ
果シテ事實デアリヤ否ヤ、又支那ノ國民軍
ガ機械水雷ヲ塘沽ノ沖ニ並べ、或ハ白河ノ
交通ヲ妨害シタル云フヤウナコトモ聞イテ
居ルノデアル、官フ迄モナク白河ハ義和團
ノ議定書ニ——義和團ノ戰争ノ後ニ議定シ
タル所ノ最終議定書中ニ於テ列國ガ航行ノ

自由ヲ得テ居ル所デアリマスル、之ニ對
シテ斯ル亂暴ナル敷設水雷ヲ設ケルコト云
フヤウナコトヲスルノハ、明ニ國際法ヲ
無視シタル行爲ト言ハナケレバナナマス、
斯様ナルコトガ果シテアツタノデアリヤ
否ヤ、色々ノ説ガ紛々シテ未ダ全ク吾
吾ガ信ズルコトノ出來ナイヤウナ狀態
デアリマスルカラ、此點ニ於テハ海軍
大臣ハ明白ニ此席ニ於テ天下ニ聲明サ
レテ、我國ノ海軍ニ於テハ何等ノ不注意モ
若クハ缺點モナイト云フコトヲ十分ニ聲明
アラシメテ希望スルノデアリマス、尙ホ
海軍ガ執ツタ所ノ事柄、又支那ノ國民軍ガ
我軍艦ニ向テ發砲シタル此事實ノ詳細
ナル顛末、事ノ此ニ到リタル所以ヲ海軍當局
者ヨリ十分ニ茲ニ説明サレンコトヲ望ム
デアリマス、以上ハ海軍大臣ニ對シ、今マ
デ起テ原因及其結果ニ付テハ詳細ナル聲明
ヲ此處ニ得ンコトヲ希望スルノデアリマ
ス、次ニ外務大臣ニ向テ希望スルコトアリ
ハ、此事件ハ帝國ノ威信ニ最モ重大ナル關
係ノアル問題デアリマス、而シテ此事件ニ對
シテ外務大臣——政府ハ如何ナル決心ヲ以
テ此問題ニ向ハウトセラレテ居ルノデアリ
マスルカ、此事件ハ想フニ決シテ偶發シタ
ル事件デハナイトハ考ヘテ居ル、數日前ニ
起ツタ所ノ此太沽ノ沖ニ於テ、我ガ國旗ヲ
掲ゲタル軍艦ニ向テ無法ノ發砲ヲシ、軍
人ヲ傷ケ、帝國ノ威信ヲ損シタル事柄ハ、
單ニ數日前ニ突如トシテ起ツタ問題デハナ
ク、必ズ深キ之ニ對スル原因ガナケレバ
ナラヌト思フノデアリマス（ヒヤ）此
件ハ又一面ニ於テハ、支那ガ今ノ日本ニ對
スル所ノ心理狀態ヲ極メテ明白ニ語テ居
ルモノデハナイカト思フノデアリマス（拍
手）又此事件ノ出來事ガ確ニ日本ノ外交ノ
一大弱點ヲ暴露シタモノデアラト信ズル
デアリマス（ヒヤ）昨年ノ末ニ於テ是ト
同様ナ事件ガ、國民軍ト天津ノ李景林ノ軍
ト相對シテ居ル時ニ起ツタ、其對戰中ニ起
タ其事件ガ、今日尙ホ是ガ解決セラレズニ
居ルノデアリマス、支那側ハ我國ノ抗議ニ
對シテ、十分ナル説明ヲ今日尙ホ與ヘテ居
ラナイ、今日起ツタル、即チ三月ノ十二日
午後三時ニ起ツタル所ノ此事件ハ、昨年ニ
於テ同様ナ事件トシテ現ハレテ來テ居ル
ノデアリマス、斯ノ如ク重ネ——斯様ナル
事件ガ起ツテ、サウシテ支那ガ我國ニ加フ

ル所ノ此傍若無人ノ態度ト云フモノハ何デ
アリマセウ、之ヲ私ハ外務大臣ガ、ドウ云
フ御考ヲ以テ此事件ニ臨ムカト云フ所ノ考
ヲ之ニ依テ伺ヒタイト思フノデアリマス、
又此事件ニ付テハ外務省デハナイガ、外交官
ガ執ツタ所ノ手段ト云フモノガ甚ダ緩慢デ
アル、是ハ決シテ此外務大臣ガ攻撃スル意
味デハナイガ、我國ノ外交ノ傳統的ニ麻痺
シテ居ル所ノ一ツノ缺陷デアラト思フ
（ヒヤ）、（拍手）此明白ナル事實ハ御承知
ノ如ク三月十二日午後二時ニ起ツタ事柄
アルサウシテ其事柄ハ直ニ其夜ノ中ニ、
カノ處置ヲ執ラナケレバナナラヌ筈デア
ル、然レニ支那側ニ於テハ其夜ノ何時デアリ
マスルカ、時ヲ移サズ其夜直ニ外務次官ノ
會、此人ノ秘書官沈ハ、直ニ日本ノ公使館
ニ往テ、今度ノ事件ハ日本ノ手落デア
ル、此事件ノ原因ハ日本ニ在ルノデア
ル、注意シテ貴ヒタイト云フ、斯ウ云フ逆振
ヲ日本ノ公使館ニ持込ダノデアル、是ハ先
ヅ支那ガ其非ヲ掩ハナガ爲ニ先手ヲ打
ツニ遭テ、正當ナル理由ガアルニモ拘ラズ、
後手ニナツテ、之ヲ辯解シ、之ヲ保護シナ
ケレバナナラヌト云フヤウナ立場ニ置カレ
ルコトハ、日本ノ外交官ガ常ニ時機ヲ見
ズ、時機ヲ逸シテ外交ノ機微ヲ失フコト
コトデアラウト思フノデアリマス、此時ニ
於テ日本ノ外交官ハ、何故直ニ進ンデ之ヲ
支那ニ抗議ヲセヌカ、却テ支那ヨリ無法
ニ抗議ヲ受ケナケレバナナナイヤウナ立場
ニ置カレルト云フモノハ斯様ナル遺口ヲシ
テ居ル、又厚カマシクモ此事件ヲ支那側ヨリ
シテ直ニ其夜ノ中ニ日本ノ公使館ニ逆振
ヲ喰ハシニ往ツタト云フ、此逆振ノ辯解ヲ
シテ居ルノデアリマスガ、是ハ海ニ支那人ハ
外交官ト云ハズ、總テ支那ノ政客ノ中ニ
殆ド眼中人ナキ態度デアリマス、眼中日本
ガナイ、支那人ハ今日ノ日本ヲ視ルコト
殆ド所謂眼中人ナシト云フモノ宜シイノデ
アル、鹿鉅爵ノ如キハハハタル一武弁ニ過
ギナイ、此ハ武人ノ其態度ハ、既ニ斯ノ
如ク日本ニ對シテ何處ニ無禮千萬ノ態度
ヲ執ツテ居ル、斯様ニシテ何處ニ日本ノ威信
ガアルデセウカ、帝國ノ威信ガ如何ニシテ
保タレルトコトガ出來ルデアリマセウカ、又
斯ノ如ク日本ガ微々タル者ニマデ侮リヲ受

ケ、而シテ常ニ逆振ヲ喰フテ、日本ガ之ニ向
テ辯明ヲシナケレバナナラヌト云フヤウナ立
場ニ置カレルト云フ、其態度ソレ自身ガ大
ナル不利益デアル、又一面ニ於テハ支那人
ガ日本ヲ視ルコト殆ド何ト云ヒマスカ、日
本帝國ノ地位ト國民ノ光榮アル地位ヲ、何
等ノ價值ナキモノ、如クニ考ヘテ居ルト云
フ彼等ノ心理狀態ヲ能ク現ハシテ居ルト思
ヒマス、私ハ斯様ナル狀態ニ日本ヲ置クト
云フコトハ、是ハ抑誰ノ罪デアリマセウ
カ、殊ニ近來帝國外交ノ甚ダ振ハザルコ
トヲ私ハ感ズルノデアリマス（拍手）ノウ
ノウ支那ニ於テハ殆ド日本ノ威信ハ地ニ
墜チントシテ居ルノデアリマス、今日外務
大臣ハ、支那ニ於ケル日本ノ「プレス・テ
リ」ヲドウ見テ居ラル、ノデアルカ、此狀
態ヲ如何ニ御考ヘニナツテ居ルノデアリマ
スカ、私ハ茲ニ現政府ガ執ツテ居ル所ノ絕
對不干渉主義ノ外交ノ是非ヲ批判セン
ル者デハナイ、ナイガ恐ラク今日日本ノ外
交程軟弱ヲ極メテ居ルコトハナイト思ヒマ
ス（拍手）斯様ナル軟弱ナル外交ノ有様ガ、
今日ノヤウナ狀態ヲ惹起シタノデアリマス、
今日ノ十二月ニ於テ楊村ノ附近日本ノ軍曹
ガ實際ノ業務ニ携フテ居ル際ニ遭難シ、又
今日尙ホ此問題ガ解決シテ居ラナイ、又昨
年ノ五月ニ御承知ノ通りニ豐田紡績工場ノ
騒ギノトキニ、其支配人デアツタ原田某ト
云フ者ガ、此騒ギノ爲ニ殺サレテ居ル、ソ
レニ對スル始末モマダ著イテ居ラナイ、或
ハ又上海ニ、或ハ漢口ニ、工場ガ破壊サレ
タノモ多イ、商店ノ潰サレタノモ多イ、又
日本人ノ財產ガ非常ナル損害ヲ受ケマシ
タコトモ諸方ニアルノデアリマス、是等ノ問
題モ、今日尙ホ少シモ解決シテハ居ラナ
イ、又最も憂フベキコトハ、彼ノ滿蒙ノ土
地租借權ノ如キ、是ハ獨リ此政府ノ罪デハ
ナイト思ヒマス、是ハ獨リ此政府ノ罪デハ
ニ得タル所ノ日本ノ權利ガ、今日マダ之ヲ
解決セラレズニ居ル、又之ヲ解決シマデ
スルコトノ努力ヲ挑ツテ居ラナイト云フコ
トハ、海ニ國ノ爲ニ數ズベキコト、言ハナ
ケレバナナラヌ、斯様ナル色々ノ問題ガ解決
セラレズニ、皆支那人ノ機嫌ヲ考ヘ、支那
ガ爲ニ、日本ガ利益ガ爲ニ、或ハ其機嫌ヲ得
ヤウナ問題ヲモ之ヲ抑ヘ、サウシテ唯、徒ラ
ニ支那ノ歡心ヲ得ントシテモ、決シテ其目
的ハ達セラレルモノデハナイ、日本政府ハ

稅權ノ回復モ列國ニ先シテ之ヲ唱ヘ、或ハ治外法權ノ撤去モ列國ニ先シテ之ヲ唱ヘテ居ル、斯様ナ重大ナル問題、支那ヲ再生セシムベキ所ノ色ニ重大ナル問題ヲ、日本ハ列國ニ先シテ之ヲ唱ヘ、ヤウトシテ居ル、吾々ハ決シテ之ヲ惡イト云フ者デハナイ、併ナガラ正當ナル權利ハ、之ヲ得ルコトハ出來ズ、却テ支那ニ向テ重大ナル權利ヲ我ガ國ニ得ベキモノ、當然得ナレバナラズ所ノ其權利ヲモ得ルコト出來ナイニ至ッテハ、實ニ國ノ爲ニ慨嘆セザルヲ得ナイノデアリマス、茲ニハ青島ヲ支那ニ返シテ、サウシテ支那ヨリハ何等ノ感謝ヲ得テハ居ラナイノデアリマス、斯ノ如ク讓歩ニ讓歩ヲ重ネ、又退嬰ニ退嬰ヲ重ネテ、サウシテ今日ノ外交ヲシテ居ル、外交ハ決シテ慈善事業デハナイ、日本ノ外交ハ宋襄ノ仁デアリ、今日支那ニ向テ所ノ態度ハ唯、宋襄ノ仁ヲ繰返シテ居ルノデアリ、支那人ノ嘲罵ヲ受ケルコトハ當然ノ事デアリ外交ハ自國ノ權利ヲ國民ノ利益ヲ擁護スルコトヲ第一義トシナラバナラヌコトハ無論ノ話デアリ、又此目的ヲ持テ、此第一義ヲ外交ガ行フニ非レバ、日本ノ外交ハ何等ノ價值ヲ持タナイト思フノデアリマス、今日ノ事件ノ如キモノ、塘沽ノ沖合ニ於テ砲撃シタル事併ノ如キ、頻々トシテ是カヲ起ルノデアリ、是ハ日本ノ外交ノ根柢ニ損ハル所ノ一大弱點カヲ起テ來タ所ノ問題デアリ、一、大弱點カヲ起テ來タ所ノ問題デアリ、二、私ハ決シテ帝國主義ヲ謳歌スル者デハアリマス、徒ニ支那ノ歎息ヲ買ハントスル爲ニ、或ハ自由主義ニ感服シテ、斷乎タル外交ノ方針ヲ立テルコトガ出來ナイヤウナコトデアレバ、是ハ外交ニ依テ國ガ亡ビルノデアリ、最近ニ於ケル世界ノ外交ノ大勢ヲ見テモ分ル、決シテ今日ノ日本ノヤウナ軟弱外交ヲシテ居ル所ハナイ、唯、二人ノ當教師ヲ失フタガ爲ニ獨逸ハ青島ヲ取ッテ、是ハ古イ例デ、大戰争後ノ今日ニ於テハ非常ニ外交方針ヲ違テ來タト云フテモ、最近ニ於テ英吉利ハ一人ノ將軍ヲ埃及人ニ依テ殺サレタガ爲ニ、連シテ國務大臣ヲ捕虜ニシテ居ルコトモアル、或ハ亞米利加ノ如キ自由民主國ガ「サンドマン」ニ於テ軍事占領ヲシテ居ルコトモアル、或ハ伊太利ノ「ムッソリニ」内閣ガ二人ノ伊太利人ガ「アルパニヤ」ノ國境ニ於テ希臘人ニ殺サレタト云フ理由ニ依テ、直ニ希臘ノ重要ノ

地盤ヲ占領シテ居ルノデアリ、或ハ佛人ガ「ルール」ニ於ケル獨逸人ヲ驅逐シテ之ヲ占領シテ居ル、或ハ近頃人道ト「インスタン」シヨナル」ヲ唱ヘテ居ル露國共產政府ガ外蒙古ヲ占領シ、或ハ波蘭ノ侵入シテ、或ハ又「ジョージヤ」ニ於テ武力ヲ占領シテ居ル、云フヤウナコトヲヤツテ居ル、今日ノ外交ハ皆各、其政策ヲ立テ、斷乎トシテ一步モ譲ラズニ、其國民ト國家ノ利益ヲ擁護シテ居ルノデアリ（ヒヤ）私ハ今日ノ日本ノ外交ガ支那ニ對シテ餘リニ軟弱デアリト云フコトヲ遺憾トスル者デアリ、政府ハ必ズ是ハ強硬ナル態度ヲ取ルコトヲ云フコトヲ申サルルニ相違ナイト思ヒマス、強硬ナル態度ヲ取ルコトヲ云フコトハ至極結構ナコトデアリ、御承知ノ如クニ支那人ニ對シテ如何ナル強硬ナル態度ヲ取ルニシテモ、口舌ノ上ニ於テ之ヲ爭フ所ガ何ノ役ニモ立タヌト思フ、結局支那人ハ鐵釘ヲ打ツヤウナモノデアリ、支那人ノ外交ニ對シテ日本ガ強硬ナル——今マデノヤウナ文書或ハ言葉ニ依ッテ、ドウ云フ強硬ナルコトヲ言ハウガ、結局何等得ル事ハナカラウト思フ、然ラバドウモ覺悟デアリマス、外務大臣ハ如何ナル覺悟ヲ以テ、若シ支那ガ誠意ヲ披露スルコトガ出來ズ、又政府ノ希望ガ行ハレナイ時ニ於テハ、現國務大臣ハ如何ナル態度ヲ以テ支那ニ臨マントスルノデアリカ、今日關稅會議ハ開カレテアルガ、或ハ此關稅會議ヲ止メルコトモ宜シ、或ハ直接行動ニ出テ、何レカノ地ヲ占領スルモ宜シ、苟モ國家ノ利益ヲ體面ト保タシムガ爲ニハ、強硬ナル態度ヲ執テ、將ニ日本ガ支那ニ於テ落チントスル所ノ此日本ノ「アレステイジ」ヲ恢復スルコトヲ考ヘナレバナラナイト思フ、此機會ニ於テ外務大臣ハ長イ間懸案ニナッテ居ル所ノ色、ノ外交上ノ問題ヲ一舉ニ目テ解決スル考ハ持テ居ラナイカ、又此目テ達スルガ爲ニ戰意ヲ……（發言スル者多シ）

○副議長（小泉又次郎君） 幣原外務大臣（國務大臣男爵幣原喜重郎君登壇） 只今松本君ヨリ塘沽ニ於ケル射撃問題ニ付テ緊急質問ヲ出サレタノデアリマス、而シテ此質問ハ海軍大臣ニ對スルモノト、私ニ對スルモノト二方面ガアタノデアリマスガ、便利ノ爲ニ私ヨリ先ヅ大體ノ御説明ヲ申上ダタイト思フノデアリマス、御承知ノ如ク昨年ノ終ニ於キマシマス、國民軍ガ天津ヨリ李景林軍ヲ驅逐シマシテ以來、天津方面ハ國民軍ノ手ニ落チタノデアリマス、然ルニ最近ニ至リマシテ、李景林ハ張宗昌ト提携シ、其失ヒタル天津方面ヲ奪還セント試ミテ居ルノデアリマス、陸上ニ於キマシテハ陸兵ハ既ニ天津方面ニ向ヒ、馬廠附近ニマデ參ッテ居ルノデアリマス、而シテ海上ニ於キマシテハ更ニ卑司令ノ指揮ノ下ニ屬シマスル若干ノ艦船ガ、兵員ヲ搭載致シマシマス天津方面ニ向テデアラウス、隨テ國民軍ニ取リマシマハ是等ノ兵員ガ太沽附近ニ上陸セラレラデアラウト云フ恐ヲ懷イテ、居ルノデアリマス、ソレヨリ致シマシテ、太沽ヨリ天津ニ參ルニ等ノ船隻ニ對シテ、色色ノ制限ヲ加ヘルヤウニ相成ッタ其航行ニ對シテ色色ノ制限ヲ加ヘルヤウニ相成ッタノデアリマス、或ハ臨檢ヲ行ヒ、或ハ其航行ノ時期ヲ制限致シ、又或ハ先刻松本君ノ仰セラレタル如ク、水雷ヲ敷設シタト云フ風説モアタノデアリマス、ソレハ機械水雷デハアリマス、視發水雷デアルト云フコトデアリマス、果シテ斯様ナ水雷ガ敷設サレテ居ルカドウカト云フコトハ是、確カデハアリマス、何レニ致シマシテモ、天津ニ出入スル船舶ノ航行ガ制限ヲ受ケ、妨害ヲ受ケタト云フ事實ニ顯ミマシテ、千九百一一年ノ議定書ニ關係致シテ居ル諸國ノ公使ガ集リマシマス、是等ニ對スル對抗策ヲ講ジタノデアリマス、初メハ本月ノ十日ニ會合ヲ致シマシマス、先ヅ支那中央政府ニ對シテ深甚ナル注意ヲ喚起致シタノデアリ、是ト同時ニ奉天ニ於キマシテモ、濟南ニ於キマシテモ、青島ニ於キマシテモ、是等ノ關係國ノ領事ヨリ、各其地方ノ官憲ニ抗議ヲ提出致シマシテ、斯ノ如キ不法行為ノ停止ヲ要求致シタノデアリマス、然ルニ是等ノ手段ガ餘リ有效ナル効力ヲ奏シナイト云フコトヲ見マシテ、更ニ關係國ノ公使ガ

此十二日ニ會合致シマシテ、是マデノ手段デハイケナイ、今少シク具體的ニ強硬ナル手段ヲ執ラナレバナラヌト云フ考ニ相成リマシテ、遂ニ一ツノ議決ヲ致シテ居ル、其議決ニ依リマシテ天津太沽方面ニ於ケル列國ノ海軍ノ指揮官ガ、共同デ支那ノ現ニ交戰ニ從事シテ居ル兩方面ニ對シテ、連ニ斯ノ如キ不法行為ノ廢止ヲ求ムルコト、例ヘバ若シ水雷ガアルナラバ、水雷ヲ直ニ除クコト、或ハ兩軍ノ艦ハ、苟モ軍用ニ供セラルハ、モノデアリナラバ、太沽ニ近付クコトハ相成ラヌ、又船舶ノ航行ニ對シテ一切干涉ヲ行ハレ檢査シタリスルコトハ相成ラヌト云フヤウナ趣意デ、是等ノ交戰軍雙方ノ官憲ニ對シテ注意ヲ喚起シ、若シ十六日、即チ明日ノ朝ノ潮時マデニ満足ナル回答ヲ得ラレナイ、満足ナル保障ヲ得ラレナイ場合ニ於テハ、千九百一一年ノ議定書ニ基キ、斯ノ如キ不法行為ヲ防遏スル爲ニ必要ト認ムル手段ヲ執ルコトヲ警告ヲ致スコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、是ハ列國共通ノ關係ニ在リマス一般ノ問題デアリマス、是ト同時ニ又、日本單獨ニ關スル問題ガ起ッテ參ッタノデアリマス、ソレガ則チ松本君ノ御話シニナッタ所ノ射撃事件デ、塘沽方面ニ於ケル射撃事件ト云フノガコレデアリマス、如何ニシテ斯様ナ事件ガ起ッタカト云フコトヲ單簡ニ申上ダタイト思ヒマス、昨今ノ天津ノ形勢ニ顯ミマシテ、旅順ニ碇泊致シテ居ル艦隊四隻ガ一隊トナリマシテ、十一日デアッタト思ヒマス、十一日ニ天津方面ニ急航致シ、十一日ノ夕刻ニ太沽沖ニ到着致シタノデアリマス、而シテ十二日ニ先ヅ、先ヅ天津ニ於ケル日本ノ總領事ヨリハ、國民軍總司令官於ケル日本ノ總領事ヨリハ、國民軍總司令官於ケル日本ノ軍艦ガ參ルカラ、之ニ對シテ何等ノ誤解ガアッテハイケナイ、十分ナル便宜ヲ供與スベキモノデアルト云フコトヲ要求シタノデアリマス、必要ナル訓令ヲ發シ、執ルト云フコトヲ申シタノデアリマス、更ニ他ノ一面ニ於キマシテハ、日本ノ總領事館ヨリ館員ヲ塘沽ニ派遣致シマシテ塘沽ノ砲臺ニ居リマス、將校ヲ連レ談シマシマシ、是等ノ將校ヲ連レ談シマシマシ、小蒸汽船デ以テ太沽ノ沖合ニ於ケル日本ノ驅逐隊ノ所ニ參リマシテ、サウシテ意思ノ

者ハ艦内ニ於テ休養致シテ瘵養ヲヤシテ居ル程度デアリサウデアリマス、又驅逐隊司令ノ蒲田中佐ハ極メテ微傷デアリマシテ、其後田中佐ノ任務ニ服シテ居リマス、其後上海ニ居リシト所ノ艦隊司令官ハ直ニ上海ヲ出航致シマシテ、今ヤ太沽沖ニ向テ航行中ニアリマス、又其外ニ巡洋艦ノ平戸ガ旅順ニ居リマスカラ、何事カ是レ以上ノ悶著ガ起ルヤウナ事ガゴザイマスレバ、是等モ亦送ル積リデアリマスケレドモ、其後餘リ詳シイ報告モ参リマセヌガ、今日晝頃受取りマシタ電報ニ依リマスト、前二小銃火ヲ浴ビマシタ所ノ「藤」ハ、今朝太沽沖ヲ出マシテ天津ニ向テタト云フコトデアリマスカラ、其後此事件ハ發展ハ致サヌコトデアルト考ヘテ居リマス、唯、今回ノ事ハ、我が軍艦旗ニ汚辱ヲ與ヘタルモノト考ヘマスカラ、決シテ之ヲ輕々ニ看過スル積リデハゴザイマセヌ、併ナガラ何分ニモ事情ガ能ク分リマセヌカラ、事情ヲ篤ト取調べマシテ、適當ナル手段ヲ執ルコトニ致ス積リデゴザイマス、左様ナ次第デゴザイマスルカラ、御質問ノ中ニ、日本ノ海軍側ニ何等カ手落デモアリハシシナカタカト云フ御言葉デアリマシタガ、是ハ手落ハ萬々ナカタク考ヘテ居リマス、唯、支那ノ兵ハ頗ル無節制ノ者ガ多イノデアリマシテ、實ハ日本ノ軍艦、又軍隊等ノ近邊ニ、小銃彈ヤ何カガ飛ンデ來ルコトハ、今迄モ屢、アタノデゴザイマス、是等ハ内亂ノタモニアリマスケレドモ、彼ノ海ニ亂ル土地ニアリテ居リマシテハ、斯ノ如キコトヲ一々取上ゲテ彼此レ言フコトモ、頗ル困難ナ事モアルノデアリマス、デ今回ノ事情ハ、果シテ如何ナル事デアルカ分リマセヌケレドモ、苟モ白晝青天ノ下ニ、又事前ノ打合モ能ク致シマシテ這入リマシタモノニ向ヒマシコトハ、一隊ノ兵團カラ小銃火ヲ浴セタト云フコトハ、如何ニシテモ不都合デアルト考ヘマス、是ハ何處迄モ曲直ヲ明ニシテ、相當ノ手段ヲ執ラナクチャナラヌト考ヘテ居リマス、ソレカラ……(曲直トハ何ダ)ト呼ビ其他發言スル者多シ)

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣(財部彪君) 一言附加ヘテ申上ゲタイト思ヒマス、派遣艦隊ノ任務ハ、單リ此國民軍ニ對シテノミデハナイノデアリマシテ、奉天軍ト申シマセウカ、山東軍ト申シマセウカ、此渤海艦隊ノ方ノ者

第三十六 地租條例中改正法律案(床次竹二郎君次竹二郎君外二十三名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告) 報告書
一 地租條例中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)
右ハ本院ニ於テ議決ヲ要セサルモノト議決致候此段及報告候也
大正十五年三月四日
地租條例中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出) 委員長 元田 肇
衆議院議長泊谷義三殿
第三十七 所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君次竹二郎君外二十三名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告) 報告書
一 所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)
右ハ本院ニ於テ議決ヲ要セサルモノト議決致候此段及報告候也
大正十五年三月四日
所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出) 委員長 元田 肇
衆議院議長泊谷義三殿
第三十八 大正九年法律第十二號中改正法律案所得稅法ノ施行ニ關スル件(床次竹二郎君外二十三名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告) 報告書
一 大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)
右ハ本院ニ於テ議決ヲ要セサルモノト議決致候此段及報告候也
大正十五年三月四日
大正九年法律第十二號中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出) 委員長 元田 肇
衆議院議長柏谷義三殿
第三十九 明治四十二年法律第七號廢止法律案(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告) 報告書
一 明治四十二年法律第七號廢止法律案

